

ニジェール共和国  
住民参画型学校運営改善計画  
フェーズⅡ  
中間レビュー調査報告書

平成21年7月  
(2009年)

独立行政法人国際協力機構  
人間開発部

人間
JR
09-025

ニジェール共和国  
住民参画型学校運営改善計画  
フェーズⅡ  
中間レビュー調査報告書

平成21年7月  
(2009年)

独立行政法人国際協力機構  
人間開発部

## 序 文

サハラ以南アフリカ諸国の中でも最貧国の一つであるニジェール共和国は、教育開発 10 カ年計画 (PDDE 2003-2012) において、初等教育総就学率を 2002 年の 41.7% から 2012 年までに 94% へ向上させることを目標としている。また同計画では、学校運営に関する権限を中央省庁から学校運営委員会 (COGES) へ委譲することを骨子とする地方分権化政策を柱の一つとして掲げている。この政策は学校を取り巻く地域住民を学校運営の中心的担い手として位置づけ、学校活動計画策定から運営資金の管理、教員の管理などの権限を委譲し、さらに保護者への就学啓発活動などの責任を持たせるものである。しかし、当初はこの政策を具体化する実施戦略が不在で、COGES は機能していなかった。そこでニジェール政府は日本に対し COGES 政策を具現化するための技術協力を要請し、これに基づき、2004 年 1 月から 2007 年 7 月まで住民参画型学校運営改善計画 (みんなの学校プロジェクト) が実施された。

フェーズ I では、学校運営における住民参画を効果的に促進する COGES 戦略が打ち出され、対象地域のタウア州とザンデール州においてその有効性が実証された。2007 年 4 月にはプロジェクトの同戦略が国民教育省により採用され、公式なモデルとして認められた。この承認を受け、ニジェール政府は同モデルを全国 (約 9,000 校) に普及することを決定したうえで、全国普及とモデル発展のための技術協力を日本に要請し、2007 年 8 月から 3 年間の予定で本プロジェクトが開始された。

今般、本プロジェクトの中間レビューを目的として、調査団を派遣し、ニジェール政府や関係機関との間でプロジェクトの進捗状況の確認と DAC 評価 5 項目に基づいた評価、今後の方向性に関する協議を行った。

本報告書は、この調査結果を取りまとめたものであり、今後のプロジェクトの展開、さらには類似プロジェクトの効率的実施のために活用されることを願うものである。

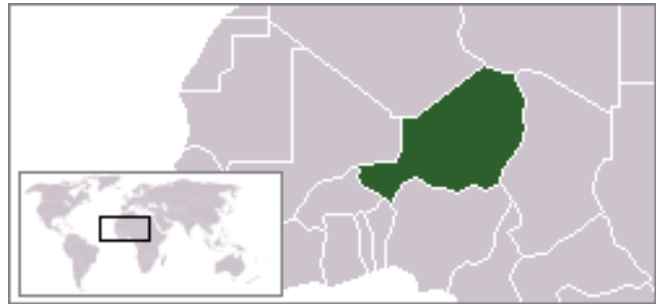
最後に、調査にご協力いただいた内外の関係者の方々に深い謝意を表するとともに、引き続き一層のご支援をお願いする次第である。

平成 21 年 7 月

独立行政法人国際協力機構  
人間開発部  
部長 西脇英隆

# 地 図

対象地域：ニジェール共和国全土



# 写 真



COGES 委員への聞き取り (ザンデール州)



APP クラブの活動 (ザンデール州)



COGES 運営のコミュニティ幼稚園  
(ザンデール州)



コミュニティ幼稚園手作りの児童教材  
(ザンデール州)



COGES 連合から感謝状を贈られた COGES  
担当官 (ザンデール州)



小学校訪問—COGES に関する寸劇 (ドッソ州)



COGES 担当官会議（ドゥソ州）



COGES 連合事務局員選出のための民主選挙  
(ティラベリ州)



ミニッツ協議



合同調整委員会



ミニッツ署名

## 略 語 表

略語	正式名（英語名）	日本語
AFD	Agence Française de Développement	フランス開発庁
APP	Activités Pratiques et Productives (Practical and productive activities)	生産実習活動
CFEPD	Certificat de Fin d'Etudes de Premier Degré	初等教育修了証書
COGES	Comité de Gestion des Établissements Scolaires (School Management Committee)	学校運営委員会
CP/COGES	Cellule de Promotion des COGES (Section of Promotion of COGES)	COGES 推進室
DEP	Direction des Études et de la Programmation (Department of Studies and Programming)	調査計画局
DGEB	Direction General de l'Enseignement de Base (Department of Basic Education)	基礎教育総局
DREN	Direction Régionale de l'Education Nationale (Regional Office of National Education)	州国民教育事務所
EPT	Ecole Pour Tous (School for All)	みんなの学校（プロジェクト）
FCC	Fédération Communale des COGES	COGES 連合
JCC	Joint Coordinating Committee	合同調整委員会
JOCV	Japan Overseas Cooperation Volunteers	青年海外協力隊
JSDF	Japan Social Development Fund	日本社会開発基金
MEN	Ministère de l'Education Nationale (Ministry of National Education)	国民教育省
M/M	Minutes of Meeting	ミニッツ
NC	National Coordinator	ナショナルコーディネーター
PADEB	Projet d'Appui au Développement de l'Education de Base (Project of Support for the Development of Basic Education)	基礎教育開発支援プロジェクト
PDDE	Programme Décennal de Développement de l'Education (Ten-Year Educational Development Plan)	教育開発 10 年計画
PDM	Schéma d'Elaboration du Projet (Project Design Matrix)	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PO	Plan d'Opération (Plan of Operations)	活動計画表
PTF	Partenaires Techniques et Financiers (Technical and Financial Partners/Donors)	ドナー
R/D	Record of Discussions	討議議事録
TICAD	Tokyo International Conference on African Development	アフリカ開発会議

UNICEF

United Nations Children's Fund

国連児童基金



# 評価調査結果要約表

担当部：人間開発部基礎教育第二課

## 1. 案件の概要

国名：ニジェール共和国	案件名：住民参画型学校運営改善計画（みんなの学校プロジェクト）フェーズⅡ
分野：基礎教育	援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：人間開発部基礎教育第二課	協力金額（評価時点）：119,663,000 円
協力期間（R/D）： 2007年8月1日～2010年7月31日（3年間）	協力相手先機関：国民教育省
	他の関連協力：なし

### 1-1 協力の背景と概要

サハラ以南アフリカ諸国の中でも最貧国の一つであるニジェール共和国は、教育開発 10 カ年計画（PDDE 2003-2012）において、初等教育総就学率を 2002 年の 41.7% から 2012 年までに 94% へ向上させることを目標としている。また同計画では、学校運営に関する権限を中央省庁から学校運営委員会（COGES）へ委譲することを骨子とする地方分権化政策が柱の一つとして掲げられている。この政策は学校を取り巻く地域住民を学校運営の中心的担い手として位置づけ、学校運営計画策定から運営資金の管理、教員の管理などの権限を委譲し、さらに保護者への就学啓発活動などの責任を持たせるものである。しかし、当初はこの政策を具体化する実施戦略が不在で、COGES は機能していなかった。そこでニジェール政府は日本に対し、COGES 政策を具現化するための技術協力を要請し、この要請に基づいて 2004 年 1 月から 2007 年 7 月まで住民参画型学校運営改善計画（みんなの学校プロジェクト）フェーズⅠが実施された。

フェーズⅠでは、学校運営における住民参画を効果的に促進する COGES モデルが構築された。対象地域のタウア州とザンデル州においては同モデルの有効性が実証され、2007 年 4 月に国民教育省（MEN）が主催した国家 COGES 実施戦略セミナーでは同モデルが公式なモデルとして承認された。この承認を受け、ニジェール政府は同モデルを全国（約 9,000 校）に普及することを決定したうえで、全国普及とモデル発展のための技術協力を日本に要請し、2007 年 8 月から 3 年間の予定でみんなの学校プロジェクトフェーズⅡが開始された。

現在、長期専門家 4 名（チーフアドバイザー/教育アドバイザー、COGES モニタリング、学校活動計画、能力強化/業務調整）を派遣中である。フェーズⅡでは、(1) 機能する COGES の全国普及に向けた行政官、校長、教員、住民の能力強化、(2) 設置された COGES のモニタリング体制の構築、(3) パイロット地域（タウア州とザンデル州）において COGES を通じた教育改善活動のモデル構築、を目指している。

### 1-2 協力内容

#### (1) 上位目標

COGES による学校運営を通じて基礎教育の質とアクセスが向上する。

#### (2) プロジェクト目標

全国の小学校に機能する COGES を設置し、維持するための COGES 政策実施体制が強化される。

#### (3) 成果

1. 機能する COGES を全国に設置するために様々なレベルの関係者の能力が強化される。
2. COGES のモニタリング体制が構築される。
3. パイロット地域（タウア州とザンデル州）において COGES を通じた教育改善活動のモデルが構築される。

#### (4) 投入（評価時点）

日本側：合計	119,663,000 円		
長期専門家派遣	4 名（65MM）	機材供与	17,599,000 円
短期専門家派遣	1 名（1.83MM）	ローカルコスト負担	102,064,000 円
研修員受入	2 名		

相手国側：

カウンターパート配置	12名	機材購入	なし
土地・施設提供	なし		
ローカルコスト負担	世界銀行支援による研修費		

## 2. 評価調査団の概要

調査者	団長・総括	原 雅裕	JICA 国際協力専門員
	教育企画	近藤 奈々	JICA アフリカ部中西部アフリカ第二課特別嘱託
	協力企画	山下 契	JICA 人間開発部基礎教育グループ基礎教育第二課
	評価分析	三宅 隆史	社団法人シャンティ国際ボランティア会
調査期間	2009年2月7日(土)～2月28日(土)		評価種類：中間レビュー

## 3. 評価結果の概要

### 3-1 実績の確認

#### (1) 成果

#### 成果1：機能する COGES を全国に設置するために様々なレベルの関係者の能力が強化される。

全国の州国民教育事務所 (DREN) 所長、COGES 監督官、県視学官、COGES 担当官を対象にワークショップやセミナーが実施され、地方行政官の能力が強化された。また、フェーズ II から新規に対象となった6州で、6,579名の校長(計画の99.46%)がCOGES委員の民主選挙に関する研修を受講し、13,267名のCOGES委員(計画の98.54%)が学校活動計画策定に関する研修を受講した。なお、研修実施経費は世銀が支援した。

#### 成果2：COGES のモニタリング体制が構築される。

COGES 連合の設置、COGES 担当官によるモニタリングに関するマニュアル、ガイドラインが計画通り作成、改訂された。2008年7月、国民教育省主催のワークショップにてCOGES連合モデルが公式に承認され、2008年10月に省令が発布された。

COGES 連合の設置と機能化については、タウア州、ザンデル州ではフェーズ I 実施中に99のCOGES連合が設置された。見返り資金運用開始の遅れによってCOGES担当官によるモニタリングが中断された期間、COGES 連合の総会・事務局会合の実回数に低下がみられた。

新規対象6州については2008年10月から09年1月にかけて、アガデス州を除く5州の149コミュニティでCOGES連合設置研修が実施され、6,423COGES(計画の99.4%)が受講、現在までに5州で67COGESが設置された。なお、アガデス州に関しては治安状況悪化のため、COGES連合設置研修の実施が見合わされている。

地方行政官によるモニタリングについては、タウア州、ザンデル州ではCOGES担当官が定期的にCOGES連合を巡回し、モニタリングを実施している。COGES担当官月例会議も定期的に実施されており、COGES監督官がCOGES担当官を監督・支援している。

新規対象6州では、COGES担当官が定期的にCOGESを巡回し、モニタリングを実施してきた。ただし、移動手段となるバイクの供与の遅れのために、モニタリング活動に支障が出ている。COGES連合設置研修実施後、COGES担当官月例会議が実施されるようになっている。

#### 成果3：パイロット地域(タウア州とザンデル州)においてCOGESを通じた教育改善活動のモデルが構築される。

2006年にタウア州の3COGESに導入されたCOGESが運営主体となるコミュニティ幼稚園は、国連児童基金(UNICEF)との連携のもと、急速に拡大し、タウア州、ザンデル州ともに55園に達した。2008年8月には機能するCOGESが運営主体となるコミュニティ幼稚園モデルが公式モデルとして承認された。

2007-08年度の農村部就学前教育就学率において、コミュニティ幼稚園が最初に導入されたタウア州が全国1位となり、そのインパクトが確認された。23のコミュニティ幼稚園が設置されたイレラ県では、初等教育入学者の男女比(女子数/男子数)が0.77(2007-08年度)から0.95(2008-09年度)に改善された。コミュニティ幼稚園モデルに関する簡易5項目評価の結果、妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性のいずれも高いことが確認された。ただし、自立発展性に影響すると考えられるモニタ

リングについては効果的・効率的なシステムの構築には至っていない。

フォーラム・アプローチに基づいた2つのキャンペーンが実施され、目覚ましい成果をあげた。ザンデール州では2007年5月から、タウア州では2008年4月から女子就学促進キャンペーンが実施された結果、女子入学登録者数が大幅に増加し、入学登録者における男女比率（女子数/男子数）は、大きく改善された。2008年1月から教育の質向上キャンペーンが実施されたザンデール州は、2007-08年度の初等教育修了試験合格率が前年度から13.2ポイント改善され、全国1位となった。

ザンデール州、タウア州で開始された視学官会議を、国民教育省が2009年1月に全国において制度化した。

**(2) プロジェクト目標：全国の小学校に機能する COGES を設置し、維持するための COGES 政策実施体制が強化される。**

新規対象6州において6,577校（計画の97.08%）が民主的にCOGESを設置し、COGES設置に関する議事録を県視学官事務所に提出した。全国における民主的なCOGESの設置が達成された。COGESの機能度を測る指標となる学校活動計画策定について、2007-08年度は全国で6,632校（計画の66.41%）が県視学官事務所に学校活動計画を提出した。しかしながら、インタビュー調査結果によるとドソ州のCOGESの機能度は、フェーズI終了時のタウア州におけるCOGES機能度と比較すると改善の余地がみられる。

**(3) 上位目標：COGESによる学校運営を通じて基礎教育の質とアクセスが向上する。**

フェーズIが開始された2004年以降、国民教育省とドナーの協力の結果、ニジェールにおける基礎教育の質とアクセスに関する指標には、改善がみられる。国民教育省とJICAは、プロジェクトを通じたCOGESの設置と機能化が教育指標の改善に大きく貢献しているという認識を共有した。

### 3-2 評価結果の要約

**(1) 妥当性：非常に高い**

現地のニーズに基づいた学校運営改善はコミュニティと児童のニーズに合致するものである。

教育の地方分権化の一環として住民参画型の学校運営を促進することはニジェール政府の教育開発10カ年計画（PDDE 2003-2012）に明記されており、ニジェールの国家政策の優先度に合致するものである。日本は、アフリカ開発会議（TICADIV）において「みんなの学校」モデルを通じた学校運営改善プロジェクトを西アフリカにおいて10,000校に拡大することを表明しており、日本の援助政策の優先度に合致している。

住民参画による教育開発は、政府のリソースが限られているニジェールにおいて適切なアプローチである。本プロジェクトの学校運営改善モデル（民主選挙によるCOGES委員の選出、学校活動計画の策定と実施、COGES担当官やCOGES連合によるモニタリング）はフェーズIにおいて適切性が確認されている。

**(2) 有効性：高い**

全国のほぼすべての学校（97%）においてCOGESが民主的に設置された。COGESの機能度を表す指標となる学校活動計画提出率は66%にとどまっているが、モニタリング体制の強化による改善が期待され、プロジェクト目標であるCOGESの「全国普及」と「機能化」に着実な進捗がみられる。モニタリング体制の構築に遅れが見られるものの、成果は概ね順調に発現しており、プロジェクト目標の達成に貢献することが期待される。

一方、プロジェクト目標の指標に目標数値が設定されていないため、目標達成状況を具体的に評価することが困難となっている。

**(3) 効率性：中程度**

活動と投入は概ね計画通り実施されたものの、見返り資金運用開始とCOGES担当官用バイク供与の遅延が、COGES担当官によるモニタリング体制の構築に遅れをもたらした。

効率性に貢献した要因として以下の3点があげられる。第一にCOGESの全国普及に関する研修は世銀の基礎教育開発支援プロジェクト（PADEB）による財政的支援によって実施された。第二にコミュニティ幼稚園の普及はUNICEFとの連携に基づき、UNICEFが就学前教育局との協力によりコミュニティ幼稚園の教員の養成研修、教材のミニマムパッケージの供与を行った。第三にコミュニケーションとCOGES連合の

連携が COGES 連合設置に関する教育省省令（2008 年 10 月）に規定されたことで、COGES 連合の活動にコミュニケーションの積極的な支援が得られている事例が複数報告された。

#### （４）インパクト：高い

COGES の全国普及と機能化が、上位目標である教育のアクセスと質の改善の大きな貢献要因であることが確認された。

ポジティブなインパクトとしては次の 2 点を確認された。第一に COGES が就学前教育、中等教育、保健分野など、初等教育以外の分野の開発に取り組んでいる事例が報告された。第二にニジェールにおいて有効性が実証された COGES モデルをもとに、セネガル、マリにおいても同様の学校運営改善プロジェクトが開始された。ブルキナファソにおいてもプロジェクト実施に向けたパイロット事業を実施中である。これらの国に対して、本プロジェクトがその経験を共有したり、プロジェクトスタッフが技術支援を行ったりする事例も出てきている。

#### （５）自立発展性：中程度

政策面については住民参画型の学校運営を促進することは教育開発 10 カ年計画（PDDE）に明記されている。COGES、COGES 連合のモデルは国家レベルで公式化されており、政策面の自立発展性は高いと判断される。

組織・財政面については中央レベルに COGES 推進室、州レベルに COGES 監督官、県レベルに COGES 担当官が配置されており、COGES 政策を持続的に推進する組織体制は整備されている。モニタリング経費は現在見返り資金から支出されているが、同資金の運用終了後の予算手当てについて今後検討していく必要がある。

技術面については COGES 監督官、COGES 担当官は COGES の全国普及に関する研修を成功させ、研修実施能力を実証した。COGES 連合、COGES に対するモニタリング能力、技術支援能力については、COGES 担当官月例会議等を通じて強化が図られている。特にタウア州とザンデル州においては COGES 連合、COGES がある程度機能していることが確認された。ただし、COGES 担当官によるモニタリングが中断された期間には機能度の低下がみられ、適切なモニタリングの必要性が確認された。

### 3-3 効果発現に貢献した要因

#### （１）計画内容に関すること

COGES 担当官月例会議は COGES モニタリングのシステムとして機能しているだけでなく、COGES 担当官の能力強化にも貢献している。民主選挙による選出は、COGES 連合、COGES の透明性を確保するだけでなく、COGES 連合委員、COGES 委員が無報酬にもかかわらず喜んでその任務を果たすモチベーションになっている。COGES 担当官が COGES 連合、COGES の問題解決に貢献した事例が複数報告され、COGES 連合、COGES の機能化に大きな役割を果たしていることが確認された。

#### （２）実施プロセスに関すること

コミュニケーション長の COGES 連合設置研修への参加、コミュニケーションによる COGES 連合に対する経済的・物質的支援など、COGES 連合とコミュニケーションの連携は、COGES 連合の機能強化に貢献し、コミュニケーションレベルにおける教育開発を促進している。

### 3-4 問題点及び問題を惹起した要因

#### （１）計画内容に関すること

PDDE を支援する世界銀行との調整、モニタリング費用を支援する見返り資金の拠出が COGES 政策実施上、不確定要因になっている。

#### （２）実施プロセスに関すること

2008 年 2 月頃に見込まれていた見返り資金の運用開始が、2009 年 1 月まで遅れたことにより、COGES モニタリングシステムの構築に遅れが生じている。世銀の支援によって 2007 年 2 月頃に予定されていた COGES 担当官用のバイク供与がまだ実現していないことで、COGES 担当官によるモニタリングの実施が困難になっている。

治安悪化によりアガデス州におけるプロジェクト活動実施が不可能になっている。

### 3-5 結論

COGES の全国普及と機能化を通じた教育改善は、ニジェールの国家政策や受益者となるコミュニティ、児童のニーズに合致しており、妥当性は非常に高い。活動と投入も概ね問題なく実施されており、COGES の全国普及はほぼ達成され、コミュニティ幼稚園やフォーラム・アプローチ、視学官会議といった教育改善につながるモデルの構築も進んでいる。ただし、見返り資金の運用開始や COGES 担当官用バイク供与の遅延により、COGES モニタリング体制の構築に遅れが生じている。今後のプロジェクト活動の成功のためには、特にこれらの部分について国民教育省のさらなるコミットメントが必要である。

COGES の機能化のためには、COGES 担当官の役割が非常に重要であることが確認された。このプロジェクト目標達成に向けて、今後は COGES 担当官の能力強化を優先課題として取り組んでいくことが求められる。

### 3-6 提言（当該プロジェクトに関する具体的な措置、提案、助言）

#### （1） COGES のさらなる機能強化（国民教育省とプロジェクトに対する提言）

COGES の機能強化の鍵となるのが COGES 担当官の能力強化である。COGES 担当官月例会議が COGES 担当官の能力強化に大きく貢献していることから、国民教育省が同会議の定期的な開催に必要な予算を支出すること、プロジェクトが同会議開催を技術的に支援することを提言する。

#### （2） COGES 担当官の選定基準の明確化（国民教育省に対する提言）

COGES の機能強化において COGES 担当官の果たす役割は非常に重要である。能力の高い COGES 担当官を確保するため、選定基準を明確に設定することを提言する。

#### （3） COGES 担当官用バイクの早期供与（国民教育省に対する提言）

COGES の機能化に不可欠な COGES 担当官による十分なモニタリングを可能にするため、バイクが早期に供与されるよう必要な手続きの促進を提言する。

#### （4） 見返り資金の適切な運用（国民教育省に対する提言）

モニタリングの適切な実施のためには、見返り資金の定期的な支出が不可欠である。適切な支出を保障するため、資金運用計画を策定し、関係省庁の承認を得ることを提言する。

#### （5） コミュニティ幼稚園のモニタリングに関するモデルの構築（国民教育省とプロジェクトに対する提言）

プロジェクト活動を通じて、教育開発におけるコミュニティ幼稚園の有効性が実証されつつあるが、そのモニタリングシステムは十分とはいえない。幼稚園の運営面、教授面に関する効果的なモニタリングを可能にするため、国民教育省に就学前教育指導主事の増員を提言する。また、プロジェクトがイレラ県におけるモニタリングシステム構築に関するパイロット事業の実施を技術的に支援することを提言する。

#### （6） フォーラム・アプローチの他州への拡大（国民教育省とプロジェクトに対する提言）

タウア州、ザンデル州において目覚ましい成果をあげたフォーラム・アプローチに基づくキャンペーンを、他州でも実施することでニジェール全体の教育開発が促進されることが期待される。国民教育省による州フォーラムの開催、キャンペーンの計画・実施をプロジェクトが技術的に支援することを提言する。

#### （7） 県視学官との関係強化（国民教育省とプロジェクトに対する提言）

県レベルの教育開発の責任者である県視学官の能力強化は、プロジェクト活動の促進に大いに貢献する可能性を持つ。国民教育省とプロジェクトに、県視学官による COGES 政策の実施に関する経験共有を促進することを提言する。

#### （8） プロジェクトの効率的な運営（プロジェクトに対する提言）

全国展開によって増大している活動に効率的に対応するため、プロジェクトチーム内の情報共有、業務分担、活動の優先順位付けを適切に行う取り組みを継続することを提言する。

**（ 9 ） COGES の能力強化と補助金導入への慎重な対応（国民教育省に対する提言）**

一部ドナーが COGES に対する補助金交付制度の拡大を提案しているが、COGES に補助金を有効活用する能力が備わっていなければ COGES の機能低下をもたらす危険性もある。国民教育省が COGES の能力強化に取り組みつつ、補助金交付制度の本格実施には慎重に対応することを提言する。

**（ 1 0 ） PDM の改訂**

PDM の一部に現在の活動の優先順位を反映していない部分が生じている。またプロジェクト目標の指標を含め、具体的な数値目標が設定されていない指標がある。プロジェクトの進捗と目標達成状況を適切に評価できるよう、PDM に必要な改訂を加えることを提言する。

なお、これらの改訂は 9～10 月に開催される予定の合同調整委員会（JCC）までには承認されるよう、速やかに全州国民教育事務所長の合意を取り付ける必要がある。

# 目 次

序 文  
地 図  
写 真  
略語表  
評価調査結果要約表  
目 次

第 1 章 中間レビュー調査団の概要	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	2
1-3 調査日程	2
1-4 主要面談者	4
第 2 章 プロジェクトの概要	5
2-1 基本計画	5
2-2 プログラムにおける位置づけ	5
2-3 プロジェクト・デザイン・マトリックス	5
2-4 実施体制	5
第 3 章 中間レビューの方法	7
3-1 評価グリッドの作成	7
3-2 評価実施方法	7
第 4 章 計画達成度	9
4-1 投入実績	9
4-2 活動実績	9
4-3 成果の達成状況	10
4-4 プロジェクト目標の達成状況	16
4-5 上位目標の達成状況	17
第 5 章 中間レビュー結果	19
5-1 評価 5 項目による評価	19
5-2 貢献要因と阻害要因の検証	22
5-3 結論	23
第 6 章 提言	24
6-1 短期的な観点からの提言	24
6-2 中長期的な観点からの提言	25

## 付属資料

1. ミニッツ（英文） .....	29
添付資料	
・ 投入実績 .....	55
・ プロジェクト・デザイン・マトリクス（PDM） .....	60
・ コミュニティ幼稚園 5 項目評価 .....	62
・ 活動計画表（PO） .....	67
・ 評価グリッド調査結果 .....	68
2. ミニッツ（仏文） .....	100
添付資料	
・ 投入実績 .....	126
・ プロジェクト・デザイン・マトリクス（PDM） .....	131
・ コミュニティ幼稚園 5 項目評価 .....	133
・ 活動計画表（PO） .....	138
3. 評価グリッド（和文） .....	139
4. 評価グリッド（英文） .....	144
5. 評価グリッド調査結果（和文） .....	158
6. 質問票 .....	187
7. 質問票調査結果 .....	189
8. インタビュー項目 .....	193
9. 面談・視察録 .....	201
10. 現地調査報告書 .....	236



## 第1章 中間レビュー調査団の概要

### 1-1 調査団派遣の経緯と目的

サハラ以南アフリカ諸国の中でも最貧国の一つであるニジェール共和国は、教育開発10カ年計画（Programme Décennal de Développement de l'Éducation : PDDE, 2003-2012）において、初等教育総就学率を2002年の41.7%から2012年までに94%へ向上させることを目標としている。また同計画では、学校運営に関する権限を中央省庁から学校運営委員会（Comité de Gestion des Établissements Scolaires : COGES）へ委譲することを骨子とする地方分権化政策が柱の一つとして掲げられている。この政策は学校を取り巻く地域住民を学校運営の中心的担い手として位置づけ、学校運営計画策定から運営資金の管理、教員の管理などの権限を委譲し、さらに保護者への就学啓発活動などの責任を持たせるものである。しかし、当初はこの政策を具体化する実施戦略が不在で、COGESは機能していなかった。そこでニジェール政府は日本に対し、COGES政策を具現化するための技術協力を要請し、この要請に基づいて2004年1月から2007年7月まで住民参画型学校運営改善計画（みんなの学校プロジェクト）（Ecole Pour Tous:EPT）が実施された。

フェーズIでは、学校運営における住民参画を効果的に促進するCOGES戦略が打ち出され、対象地域のタウア州とザンデル州においてその有効性が実証された。2007年4月にはプロジェクトの同戦略が国民教育省（Ministère de l'Éducation Nationale :MEN）により採用され、公式なモデルとして認められた。この承認を受け、ニジェール政府は同モデルを全国（約9,000校）に普及することを決定したうえで、全国普及とモデル発展のための技術協力を日本に要請し、2007年8月から3年間の予定で本プロジェクトが開始された。

本調査団は、3年間の協力期間の中間点にあたる2008年2月に以下を目的として派遣された。本調査団の調査目的は以下のとおりである。

- (1) これまで実施した協力活動について、当初計画に照らし、投入実績、活動実績、計画達成度を確認する。
- (2) 計画達成度を踏まえ、評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性）の観点から、プロジェクトチーム、ニジェール側関係者とともに、プロジェクトの中間レビューを行う。
- (3) 全体の活動を普及モデル確立の視点から検討する。
- (4) 以上の評価結果に基づき、プロジェクトの課題や今後の活動計画、将来的な展開の方向性について、プロジェクトチームやニジェール側関係機関と協議し、教訓を引き出すとともに必要な提言を行う。
- (5) 協議事項を双方の合意事項としてミニッツ（Minutes of Meeting: M/M）に取りまとめる。

### 1-2 調査団の構成

担当分野	氏名	派遣期間	所属
団長・総括	原 雅裕	2/14-2/25	JICA 国際協力専門員、人間開発部課題アドバイザー
教育計画	近藤 奈々	2/14-2/25	JICA アフリカ部中西部アフリカ第二課特別嘱託
協力企画	山下 契	2/14-2/28	JICA 人間開発部基礎教育グループ基礎教育第二課
評価分析	三宅 隆史	2/7-2/28	社団法人シャンティ国際ボランティア会

### 1-3 調査日程

	月日	曜日	業務行程
1	2月8日	日	(三宅団員 ニアメ着)
2	2月9日	月	JICA ニジェール事務所との打ち合わせ 専門家インタビュー タウアへ移動
3	2月10日	火	COGES 視察 (APP クラブ) ザンデールへ移動 州国民教育事務 (DREN) 所長表敬、インタビュー 専門家インタビュー
4	2月11日	水	視学官会議視察 コミュニケーション長表敬、インタビュー COGES (コミュニティ幼稚園)・COGES 連合 (総会) 視察、 関係者インタビュー
5	2月12日	木	コミュニケーション長・視学官表敬、インタビュー COGES (コミュニティ幼稚園)・COGES 連合視察、関係者インタビュー COGES 監督官インタビュー
6	2月13日	金	タウアへ移動 県視学官事務所表敬 COGES (コミュニティ幼稚園) 視察、関係者インタビュー COGES 監督官インタビュー
7	2月14日	土	DREN ・コミュニケーション長表敬、インタビュー 就学前視学官事務所長インタビュー COGES 連合視察 ニアメへ移動
8	2月15日	日	資料整理 (原団長、近藤団員、山下団員 ニアメ着)
9	2月16日	月	JICA 事務所との打ち合わせ 国民教育省 (MEN) 大臣・基礎教育総局長・就学前教育局長、UNICEF、 世銀表敬、協議 AGEPA 会合出席
10	2月17日	火	ドッソへ移動 DREN ・県視学官事務所表敬、インタビュー COGES 担当官会議視察、COGES 担当官インタビュー COGES 視察、関係者インタビュー ニアメへ移動

11	2月18日	水	ティラベリへ移動 DREN・知事表敬、インタビュー COGES 視察、インタビュー ニアメへ移動
12	2月19日	木	M/M 案作成 ティラベリへ移動 COGES 連合委員選挙集会視察 ニアメへ移動
13	2月20日	金	JICA ニジエール事務所・専門家との協議 M/M 案作成
14	2月21日	土	M/M 案作成
15	2月22日	日	M/M 案作成
16	2月23日	月	経験共有セミナー出席 M/M 案に関する協議 (MEN 次官他)
17	2月24日	火	合同調整委員会出席 M/M 案作成
18	2月25日	水	M/M 署名 JICA ニジエール事務所・専門家への報告・協議 UNICEF との協議 (原団長、近藤団員 ニアメ発)
19	2月26日	木	(山下団員、三宅団員 ニアメ発)

## 1-4 主要面談者（敬称略）

### （1）国民教育省（MEN）

Ousmane Samba Mamadou	大臣
Maiguizo Rakiatou Zada	次官
Marou Amadou	基礎教育総局長代行
Damana Issaka	COGES 推進室長

### （2）州国民教育事務所（DREN）

Rissa Seidi	タウア州国民教育事務所長
Zakaria Seybou	タウア州国民教育事務所 COGES 監督官
Ali Issa Waly	ティラベリ州国民教育事務所長
Salack Delah Aoussouck	ティラベリ州国民教育事務所 COGES 監督官
Ali N'Diaye Ibrahim	ザンデール州国民教育事務所長
Ibrahim Goni Abdoulaye	ザンデール州国民教育事務所 COGES 監督官

### （3）プロジェクトチーム

三浦 浩子	チーフアドバイザー／教育専門家
中澤 順子	業務調整／能力強化担当専門家
國枝 信宏	COGES モニタリング担当専門家
影山 晃子	学校活動計画担当専門家

### （4）JICA ニジェール事務所

西本 玲	所長
金田 雅之	所員
MOUSSA Abdou	現地職員

### （5）ドナー

Dominique Tallet Brasseur	UNICEF ニジェール事務所教育担当官
---------------------------	----------------------

## 第2章 プロジェクトの概要

### 2-1 基本計画

名称	ニジェール共和国住民参画型学校運営改善計画（みんなの学校プロジェクト）フェーズII
協力期間	2007年8月1日-2010年7月31日
上位目標	COGESによる学校運営を通じて基礎教育の質とアクセスが向上する。
プロジェクト目標	全国の小学校に機能するCOGESを設置し、維持するためのCOGES政策実施体制が強化される。
期待される成果 （アウトプット）	1. 機能するCOGESを全国に設置するために様々なレベルの関係者の能力が強化される。 2. COGESのモニタリング体制が構築される。 3. パイロット地域（タウア州とザンデル州）においてCOGESを通じた教育改善活動のモデルが構築される。

### 2-2 プログラムにおける位置づけ

対ニジェール JICA 国別事業展開計画（2008年7月改定）において、援助重点分野である教育分野の開発課題「基礎教育開発」に対応するプログラムとして「初等教育開発」が設定されている。本プロジェクトは同プログラムの中核案件として位置づけられている。

### 2-3 プロジェクト・デザイン・マトリックス

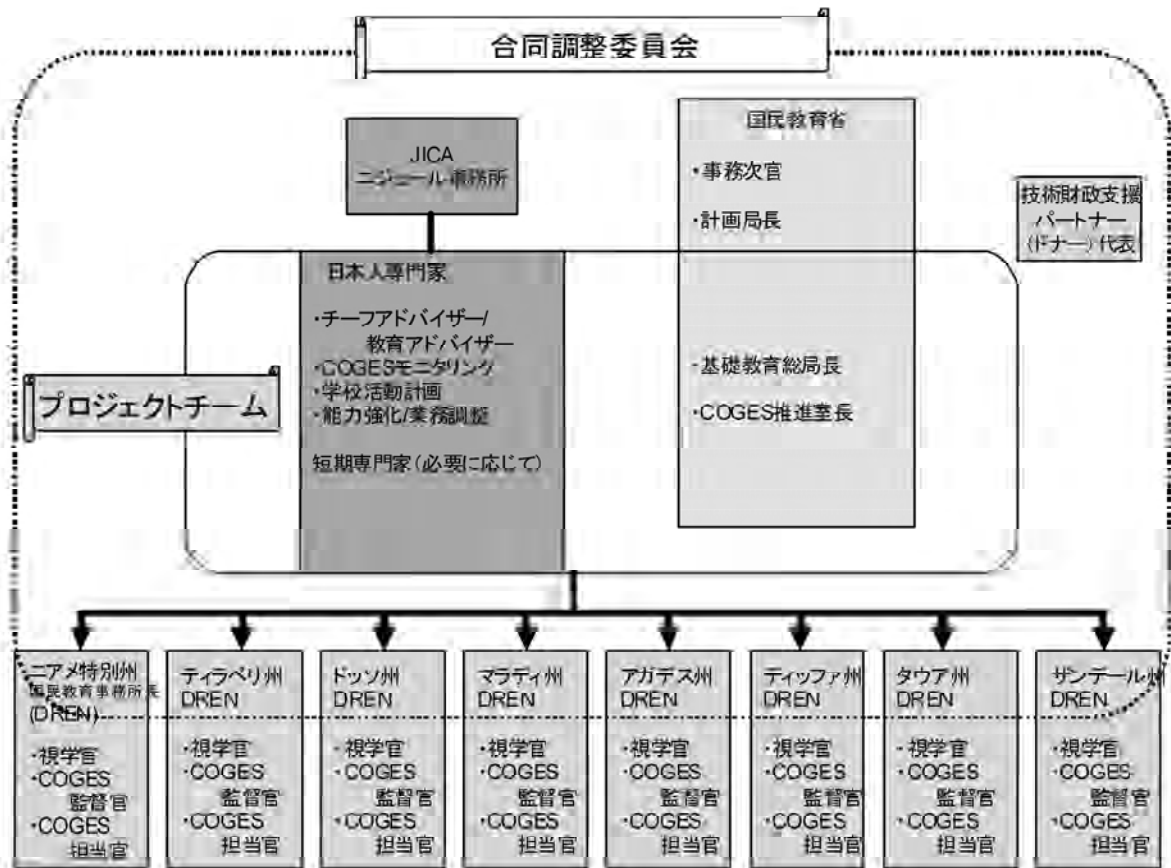
JICA では、1990年代前半から、プロジェクト管理手法の一環としてプロジェクト・サイクル・マネジメント（Project Cycle Management:PCM）手法を導入した。PCM 手法において中心的役割を果たすのは、プロジェクト・デザイン・マトリックス（Project Design Matrix : PDM）と名付けられたプロジェクト計画概要表である。これは目標、活動、投入などのプロジェクトの主要構成要素や、プロジェクトを取り巻く外部条件との論理的相関関係を示したものである。

本プロジェクトにおいても、2007年4月の討議議事録（Record of Discussions:R/D）署名時に PDM（第1版）を策定し、R/D の付属文書として承認した。

本中間レビューは PDM に基づいて実施された。PDM は付属資料1（ミニッツ添付資料）に示す。

### 2-4 実施体制

本プロジェクトのカウンターパート機関は国民教育省（MEN）である。フェーズI実施時と同様、同省次官をプロジェクトマネージャーとし、次官を議長とする合同調整委員会（Joint Coordinating Committee:JCC）がプロジェクトの最高意思決定機関として設置されており、プロジェクトの実務的な責任者であるナショナルコーディネーター（National Coordinator: NC）には COGES 推進室（Cellule de Promotion des COGES: CP/COGES）室長が任命されている。



プロジェクトの実施体制

## 第3章 中間レビューの方法

### 3-1 評価グリッドの作成

本中間レビューは「JICA 事業評価ガイドライン」（2004年3月改訂）に準拠して実施した。PDMやその他関係資料に基づいて評価設問（調査すべき項目）を検討し、プロジェクトの実績、実施プロセス、評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性）に関する評価グリッドを作成した。実績、実施プロセス、評価5項目の定義は以下のとおりである。

作成された評価グリッドは付属資料3に示す。

#### （1）実績

投入、成果、プロジェクト目標、上位目標に関する達成度、もしくは達成予測に関する情報。

#### （2）実施プロセス

活動の実施状況やプロジェクトの現場でおきている事柄に関する様々な情報。

#### （3）評価5項目

妥当性	プロジェクトのめざしている効果（プロジェクト目標や上位目標）が、受益者のニーズに合致しているか、問題や課題の解決策として適切か、相手国と日本側の政策との整合性はあるか、プロジェクトの戦略・アプローチは妥当かなどといった「援助プロジェクトの正当性・必要性」を問う視点。
有効性	プロジェクトの実施により、本当に受益者もしくは社会への便益がもたらされているのか（あるいは、もたらされるのか）を問う視点。
効率性	主にプロジェクトのコストと効果の関係に着目し、資源が有効に活用されているか（あるいは、されるか）を問う視点。
インパクト	プロジェクト実施によりもたらされる、より長期的・間接的効果や波及効果をみる視点。予期していなかった正・負の効果・影響を含む。
自立発展性	援助が終了しても、プロジェクトで発現した効果が持続しているか（あるいは持続の見込みがあるか）を問う視点。

### 3-2 評価実施方法

評価グリッドに基づいて以下の方法で情報・データを収集し、評価分析を行った。

#### （1）文献・既存資料調査

レビューした主な資料は以下のとおり。

- ・ ニジェール共和国住民参画型学校運営改善計画 中間評価調査報告書（平成17年11月）
- ・ ニジェール共和国住民参画型学校運営改善計画 終了時評価調査報告書（平成19年1月）
- ・ ニジェール共和国住民参画型学校運営改善計画フェーズII 実施協議報告書（平成19年7月）
- ・ その他プロジェクト作成資料（月報など）
- ・ ニジェール共和国教育開発10カ年計画（PDDE 2003-2012） 中間レビュー報告書
- ・ ニジェール共和国教育統計（2004年～2008年）

#### （2）直接観察

プロジェクト事務所、視学官会議、COGES 連合総会（COGES 連合事務局設置）、COGES 担当官

会議、各小学校、コミュニティ幼稚園を視察し、活動状況を確認した。

### (3) 質問票調査

新規設置の COGES から 13 校を対象（ニアメ近郊の村落部の小学校）に質問票を作成、配布し、回収した回答を分析した。

### (4) インタビュー調査

長期専門家、国民教育省、州国民教育事務所長、視学官事務所長、COGES 監督官、COGES 担当官、校長、COGES 代表、教員、生徒、青年海外協力隊（Japan Overseas Cooperation Volunteers: JOCV）隊員を対象にインタビューを実施した。



## 第4章 計画達成度

### 4-1 投入実績

日本側、ニジェール側からの投入は計画通り実施され、成果の発現に貢献している。詳細は付属資料1（ミニッツ添付資料）を参照。

#### 4-1-1 日本側投入<sup>1</sup>（合計 119,663,000 円）

- (1) 長期専門家派遣 4名（65MM）
- (2) 短期専門家派遣 1名（1.83MM）
- (3) 研修員受入（本邦研修） 2名
- (4) 機材供与 17,599,000 円
- (5) 在外事業強化費 102,064,000 円

#### 4-1-2 ニジェール側投入

- (1) カウンターパート配置  
中央レベル（国民教育省次官、基礎教育総局長、調査計画局長、COGES 推進室長）  
州レベル（各州国民教育事務所長）
- (2) プロジェクト事務所（長期専門家の執務室を含む）提供 なし
- (3) 機材購入 なし
- (4) プロジェクト実施に必要な経費（ローカルコスト） 世界銀行支援による研修費

### 4-2 活動実績

プロジェクト活動は、概ねPDMに沿って計画通り実施されている。ただし、見返り資金運用開始や（世銀支援の）COGES 担当官用バイクの供与が遅延したため、モニタリングに関する支援活動に遅れがみられる。これまで実施された主な活動は下記のとおり。

表4-1 主なプロジェクト活動

時期	活動
2007年9月	学校活動計画及び財務管理講師養成研修（全国COGES 担当官対象）
9月	COGES 経験共有セミナー（全国州国民教育事務所長対象）
10月	コミュニティ幼稚園研修（新規設立園対象）
11月、12月	生産実習活動（APP）クラブ研修
11月～	COGES 全国普及にかかる学校活動計画及び財務管理研修開始
2008年1月	COGES 連合フォーラム（ザンデール州）
1月、2月	COGES 連合機能化にかかる評価調査
2月	コミュニティ幼稚園設立研修（ザンデール州）
3月	COGES 経験共有セミナー（全国州国民教育事務所長、COGES 監督官対象）
4月	COGES 連合フォーラム（タウア州）
5月	コミュニティ幼稚園にかかる UNICEF-JICA/EPT 連携協定書署名
5月	COGES 担当官運営指導研修（ザンデール州）
7月	COGES 連合モデル承認ワークショップ支援

<sup>1</sup> 評価時点での数字。

7月、8月	仏語圏アフリカ学校運営改善スタディツアー受け入れ
8月	コミュニティ幼稚園モデル承認ワークショップ
10月	APPクラブ研修（タウア州、JOCV連携）
10月	COGES 経験共有セミナー（全国州国民教育事務所長、COGES 監督官対象）
10月～	COGES 連合設置にかかる講師研修実施 COGES 連合設置研修及び学校活動計画研修
11月	コミュニティ幼稚園設立研修（タウア州、ザンデール州）
2009年1月	コミュニティ幼稚園経験共有ワークショップ

上記活動のほか、COGES 全国普及にかかる研修の支援、見返り資金管理委員会、COGES 担当官月例会議、COGES 連合（Fédération Communale des COGES: FCC）総会のモニタリング、財務研修・学校活動計画マニュアルの改定作業などが実施された。

#### 4-3 成果の達成状況

（1）成果1:機能するCOGESを全国に設置するために様々なレベルの関係者の能力が強化される。

指標 1-1 COGES 政策に関する地方行政官の意識と理解のレベル

指標 1-2 導入研修に参加した関係者の数

指標 1-3 研修を受講したCOGES 監督官とCOGES 担当官の数

指標 1-4 各州における研修実施計画の策定

指標 1-5 COGES 選挙研修を受けた校長の数と学校活動計画研修を受講したCOGES 委員の数

指標 1-6 COGES とCOGES 連合に関する政策の改定

フェーズ I 対象州と新規対象州において、地方行政官（州教育事務所長・COGES 監督官・県視学官・COGES 担当官）はそれぞれ能力強化を目的とする研修を受講した。新規 6 州においては、校長・COGES 委員対象の研修が世銀の財政支援により実施され、民主選挙研修を 6,579 名の校長（計画の 99.46%）が、学校活動計画策定研修を 13,267 名の COGES 委員（計画の 98.54%）が受講した。COGES 担当官は、COGES 委員対象の研修講師を務め、活動モニタリングなど技術支援を行っており、関係者全体の能力は向上してきている。

また、中央レベルにおいても COGES 政策に関する意識は高く、2008 年 7 月には国民教育省主催のワークショップにおいて COGES 連合モデルが承認され、同じく 8 月開催のワークショップでは、機能する COGES により運営されるコミュニティ幼稚園モデルが公式に採用されるなど、COGES と COGES 連合に関する政策が改定されている。

#### 1) 地方行政官の能力強化（全州）

表 4-2 実施された研修とセミナー

開催時期	研修名	主な内容	参加者 * ( ) 内は人数
07年6月	導入研修	COGES 政策、民主選挙	DREN(8)、 COGES 監督官(8)
07年9月	経験共有セミナー	民主選挙研修の実施報告	DREN(8), COGES 監督官(8), COGES 担当官(51)
07年9月	導入研修	学校活動計画、財務管理	COGES 監督官(8), COGES 担当官(51)
08年3月	経験共有セミナー	学校活動計画策定研修、 民主選挙研修の実施報告	DREN(8), COGES 監督官(8), COGES 担当官(51)

08年10月	経験共有セミナー	COGES 連合設置研修計画の策定、フォーラム・アプローチによるキャンペーンの結果報告	DREN(8), COGES 監督官(8), COGES 担当官(51)
--------	----------	---	--------------------------------------

## 2) COGES 委員の能力強化 (新規対象 6 州)

表 4-3 民主選挙研修〈対象：校長〉

	受講者数 (計画)	受講者数 (実績)	受講率
Agadez	364	364	100.00%
Diffa	425	425	100.00%
Dosso	1802	1795	99.61%
Maradi	1868	1868	100.00%
Niamey	493	453	91.89%
Tillaberi	1860	1870	100.54%
計	6,812	6,579	99.46%

表 4-4 学校活動計画策定研修〈対象：各校 COGES 委員 2 名〉

	受講者数 (計画)	受講者数 (実績)	受講率
Agadez	728	622	85.44%
Diffa	850	769	90.47%
Dosso	3608	3604	99.89%
Maradi	3736	3748	100.32%
Niamey	984	916	93.09%
Tillaberi	3558	3608	101.41%
計	13464	13267	98.54%

### (2) 成果 2 : COGES のモニタリング体制が構築される。

指標 2-1 マニュアルの改訂

指標 2-2 COGES 連合モデルの承認

指標 2-3 設置された COGES 連合の数

指標 2-4 定期的な COGES 担当官月例会議の開催

指標 2-5 定期的な COGES 監督官からの報告書提出

指標 2-6 学校活動計画の収集システムの構築

#### 1) マニュアルの作成・改訂

COGES 連合設置やモニタリングに関するマニュアルやガイドラインが、順次計画通り作成・改訂され、COGES 担当官と監督官によって活用されている。

##### 【作成されたマニュアル・ガイドライン】

- ・ COGES 連合設置のための研修マニュアル (2008 年 10 月改訂)
- ・ COGES 連合設置のためのトレーナー用ガイド (2008 年 10 月作成)
- ・ COGES 活動のためのモニタリングガイド (2008 年 10 月作成)
- ・ COGES 担当官会議開催のためのガイド (2008 年 10 月作成)
- ・ COGES 連合設置のための選挙実施ガイド (2008 年 12 月作成)

#### 2) COGES 連合モデルの承認

COGES 連合モデルは 2008 年 7 月、国民教育省主催のワークショップにて公式に承認され、同年 10 月に設立・役割・組織に関する省令が公布された。

### 3) COGES 連合の設置状況と機能度

#### a) タウア州、ザンデル州

フェーズ I 実施中に 99 の COGES 連合が設立された。見返り資金運用開始の遅れによって COGES 担当官によるモニタリングが中断された期間、COGES 連合の機能低下が確認された。モニタリング再開後、一部機能は回復したが、以下の表のとおり、2008-09 年度の機能度は 2007-08 年度に比べて、透明性と COGES モニタリング機能に影響する総会・事務局会合の実施回数に低下がみられる。

表 4-5 COGES 連合機能度①

		事務局会合 実施回数 (平均)	総会実施回数 (平均)	学校活動計画 回収率	前年度学校活動計画 実施総括回収率
Tahoua	07-08	7.0	2.8	88.1%	N/A
	08-09	3.4	1.7	85.6%	43.7%
Zinder	07-08	7.3	3.8	90.6%	N/A
	08-09	3.1	1.4	92.9%	N/A

表 4-6 COGES 連合機能度②

		第 2 活動計画 策定率	第 2 活動計画 策定数 (平均)	第 2 活動計画 実施数 (平均)	資源動員量 (平均)
Tahoua	07/08	100%	2.8	2.5	500,202 Fcfa
	08/09	97.7%	N/A	N/A	129,885 Fcfa
Zinder	07/08	100%	2.3	2.3	201,712 Fcfa
	08/09	98.2%	N/A	N/A	87,630 Fcfa

#### b) 新規対象 6 州

2008 年 10 月から 09 年 1 月にかけて、アガデス州を除く 5 州の 149 コミューンで COGES 連合設置研修が実施され、6,423COGES (計画の 99.4%) が受講した。現在までに 5 州で 67COGES が設置された。なお、アガデス州に関しては治安状況悪化のため、COGES 連合設置研修の実施が見合わされている。

### 4) COGES 担当官月例会議の開催とモニタリング

#### a) タウア州、ザンデル州

COGES 担当官が定期的に COGES 連合を巡回モニタリングし、COGES 担当官月例会議にて報告を行っている。同会議は定期的実施されており、COGES 監督官が COGES 担当官を監督・支援している。ただし、見返り資金運用開始の遅れによって、COGES 担当官によるモニタリングは 2008 年 10、11 月に一時中断された。

#### b) 新規対象 6 州

COGES 担当官が定期的に COGES を巡回し、モニタリングを実施してきたが、移動手段となるバイクの供与に遅延が生じ、モニタリング活動に支障が出ている。ただし、COGES 連合設置研修実施後、COGES 担当官月例会議が実施されるようになっている。

### 5) COGES 監督官による報告書

COGES 監督官は州国民教育事務所 (DREN) 所長に COGES 活動に関する報告書を提出し、その後、州国民教育事務所長が国民教育省次官に報告書を提出している。

## 6) 学校活動計画収集システムの構築

タウア州、ザンデール州においては、COGES 連合が COGES 活動モニタリングの一環として各 COGES の学校活動計画の収集を行っているが、3) で示したように、見返り資金の拠出遅延のため COGES 担当官による COGES 連合モニタリングが停滞し、COGES 連合による学校活動計画の収集率に低下がみられた。

### (3) 成果 3: パイロット地域（タウア州とザンデール州）において COGES を通じた教育改善活動のモデルが構築される。

【指標】 モデル活動に関するグッド・プラクティスの収集とマニュアルの作成

【グッド・プラクティスの例】

#### 1) 機能する COGES が運営主体となるコミュニティ幼稚園

2006 年にタウア州の 3COGES に導入され、コミュニティの高いニーズが確認されたコミュニティ幼稚園は、国連児童基金（United Nations Children's Fund: UNICEF）との連携のもと、下表のとおり急速に拡大している。2008 年 8 月には機能する COGES が運営主体となるコミュニティ幼稚園モデルが公式モデルとして承認された。タウア州イレラ県（23 のコミュニティ幼稚園を設立）では、初等教育入学者の男女比（女子数/男子数）が 0.77（2007-08 年度）から 0.95（2008-09 年度）に改善された。

表 4-7 コミュニティ幼稚園数と園児数

		コミュニティ幼稚園数	園児数	園児のうち女子の比率
2007/08	Tahoua	27	2,131	50.4%
	Zinder	23	1,299	50.7%
	Total	50	3,430	50.5%
2008/09 (as of Feb 2009)	Tahoua	55	N/A	N/A
	Zinder	55	N/A	N/A
	Total	110	N/A	N/A

コミュニティ幼稚園が最初に導入されたタウア州が、2007-08 年度の農村部就学前教育就学率において全国 1 位となった。

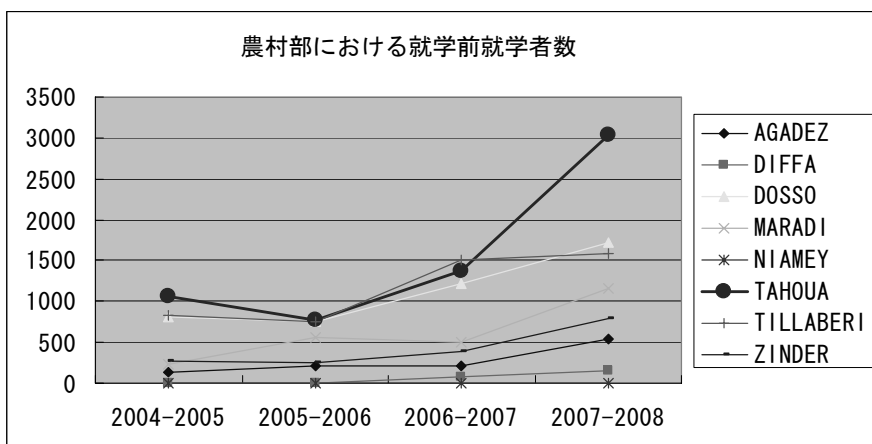


図4-1 農村部における就学前就学者数

(データ：国民教育省統計)

COGES 運営によるコミュニティ幼稚園は児童・親のニーズに応えるものであるうえ、経常経費がコミュニティの負担によるものであることから、財政的に自立するとともに効率的であることを示している。コミュニティ幼稚園モデルに関する簡易5項目評価の結果、妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性のいずれも高いことが確認されているが、自立発展性に影響を与えるモニタリングについては効果的・効率的なシステムの構築には至っていない。

## 2) フォーラム・アプローチ<sup>2</sup>

フォーラム・アプローチに基づいたキャンペーンが実施されたタウア、ザンデルの両州において、以下のとおり目覚ましい成果がみられた。

### a) 女子就学促進キャンペーン

ザンデルでは2007年5月から、タウアでは2008年4月から女子就学促進キャンペーンが実施され、下図のとおり女子入学登録者数が大幅に増加した。また、入学登録者における男女比率（女子数/男子数）についても、ザンデルは大きく改善された2007-08年度以降高い水準を維持しており、タウアも2008-09年度に目覚ましい改善がみられた。

<sup>2</sup> フォーラム・アプローチとは、地域や国の教育開発ニーズを考慮した統一テーマにそって、地域のすべてのCOGESと教育関係者が一斉に改善活動を実施することにより、大々的なインパクトを与えることを目的としたアプローチである。このアプローチでは、まず、COGES 連合代表や教育行政および地方自治体関係者が一堂に会し、地域の教育開発ニーズをもとに抽出した統一教育改善テーマについて議論し、そのテーマに関する各アクターの具体的な改善活動計画実施について合意を得、決議する。この決議事項は、参加者であるCOGES 連合代表により各地のCOGES 連合総会を通じて各COGES に情報が伝達される。各COGES において住民総会が開催され、フォーラム決議事項（就学キャンペーンなど）の実施の可否を議論し、実施の場合は学校活動計画の一つとして策定されることになる。一方、地方教育行政、自治体関係者も、それぞれ決議に沿った活動を実施する。

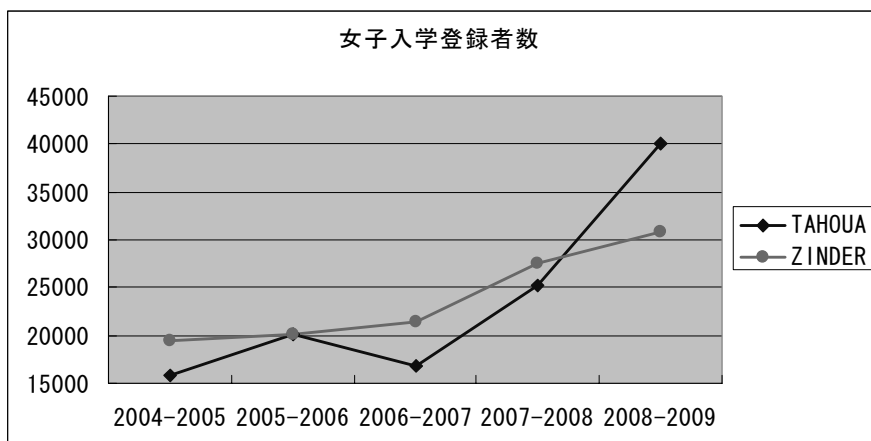


図 4 - 2 女子入学登録者数

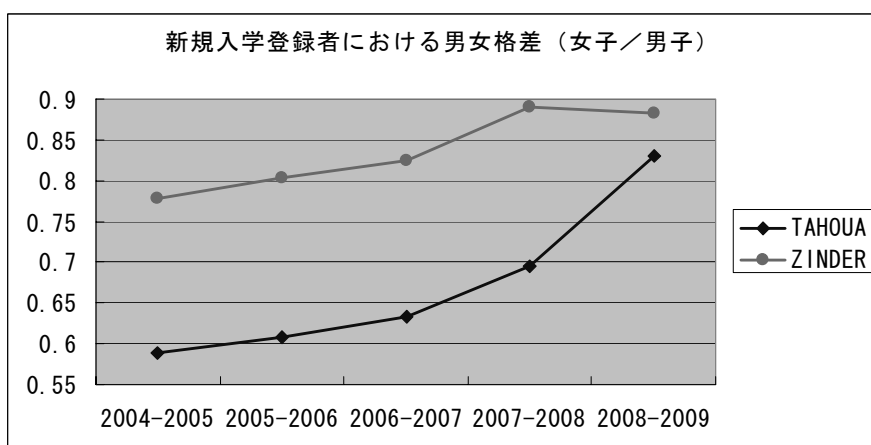


図 4 - 3 新規入学登録者における男女格差

(データ：国民教育省統計)

b) 教育の質向上キャンペーン

2008年1月から教育の質向上キャンペーンが実施されたザンデル州は、2007-08年度の初等教育修了試験合格率が前年度から13.2ポイント改善され、全国1位となった。

表 4 - 8 初等教育修了試験合格率

	(a) 2006-2007				(b) 2007-2008 (*暫定)				(b) - (a)	
	受験者数	合格者数	%	順位	受験者数	合格者数	%	順位	増減ポイント	順位
Agadez	4,676	2,608	55.8%	1	5,088	2,916	57.3%	2	+1.5	6
Diffa	2,768	1,404	50.7%	3	3,156	1,725	54.7%	4	+4.0	5
Dosso	23,720	11,791	49.7%	4	25,567	12,552	49.1%	7	-0.6	7
Maradi	29,279	11,895	40.6%	7	35,134	13,847	39.4%	8	-1.2	8
Niamey	16,673	8,088	48.5%	5	18,107	10,351	57.2%	3	+8.7	4
<b>Tahoua</b>	<b>23,720</b>	<b>6,495</b>	<b>27.4%</b>	<b>8</b>	<b>26,054</b>	<b>12,946</b>	<b>49.7%</b>	<b>6</b>	<b>+21.3</b>	<b>1</b>
Tillabéri	22,790	10,010	43.9%	6	22,242	11,948	53.7%	5	+9.8	3
<b>Zinder</b>	<b>19,471</b>	<b>10,608</b>	<b>54.5%</b>	<b>2</b>	<b>24,471</b>	<b>16,569</b>	<b>67.7%</b>	<b>1</b>	<b>+13.2</b>	<b>2</b>
TOTAL	143,097	62,899	44.0%		159,819	82,854	51.8%			

(データ：国民教育省統計)

フォーラム・アプローチの特徴は、フォーラムでの決議事項が COGES 連合、COGES を通じ住民に伝えられ、各 COGES レベルでそれらの活動が着実に実施されることである。活動実施においては、COGES 連合、COGES、コミュニティ、教育行政が共同で取り組んでいる。2008 年 10 月公布の COGES 連合省令において、コミュニティの COGES 連合に対するコミットが明記されており、地域によってはコミュニティから強力な財政などの支援を得ているところもある。

### 3) 視学官会議

プロジェクトは、教育開発 10 カ年計画 (PDDE) プロセスの促進、COGES 政策実施における視学官の巻き込みを目的として、ザンデル州 (2008 年 1 月) とタウア州 (2008 年 4 月) で視学官会議を開始し、2008 年 9 月より月例会議化した。視学官会議においては学校運営面と教育学的な問題が取り上げられ、情報・意見交換の場としてその有効性が認められたため、2009 年 1 月に国民教育大臣名の州国民教育事務所長あて書簡により、視学官会議の定期開催が制度化された。

### 4-4 プロジェクト目標の達成状況

プロジェクト目標：全国の小学校に機能する COGES を設置し、機能するための COGES 実施体制が強化される。

指標① 民主的選挙により COGES を設置した学校の数

指標② 学校活動計画を策定した COGES の数と学校活動計画実施率

#### (1) 民主的選挙による COGES の設置

新規対象 6 州において、6,577 校 (計画の 97.08%) が民主的選挙により COGES を設置し、同設置に関する議事録が県視学官事務所に提出された。

表 4-9 COGES 設置数<sup>3</sup>

	学校数	COGES 設置に関する議事録を提出した学校数	提出率
Agadez	364	237	65.11%
Diffa	425	425	100.00%
Dosso	1,795	1,795	100.00%
Maradi	1,868	1,868	100.00%
Niamey	453	360	79.47%
Tillaberi	1,870	1,892	101.18%
計	6,775	6,577	97.08%

提出率が低い 2 州については、アガデス州は面積が広く各世帯が校区内に点在するうえ、放牧による移動が多い世帯が集中していること、ニアメ州は都市化により近隣のコミュニティ意識が比較的低いことが、それぞれの特徴として考えられる。

<sup>3</sup> COGES 設置数は、「COGES 設置に関する議事録を提出した学校数」を採用している。この議事録は COGES 委員が民主的過程を経て選出されたことを証明する記録である。

また、「学校数」とは、COGES 設置の研修計画時に既に存在していた学校数である。ニジェールにおいては、学校が常時設立されるため、研修実施後「COGES 設置に関する議事録を提出した学校数」が「学校数」を上回る場所がある (ティラベリ州)。



## (2) 学校活動計画の策定

COGES の機能度を測る指標となる学校活動計画策定については、2007-08 年度は全国で 6,632 校(計画の 66.41%) が県視学官事務所に学校活動計画を提出している。フェーズ I からの対象州であるタウア州、ザンデール州の学校活動計画提出率(平均 89.48%) を考えると、新規対象州(平均 55.24%) はまだ改善の余地があるといえる。

表 4-10 学校活動策定率

	学校数	学校活動計画策定数	策定率	情報更新時期
Agadez	311	264	84.89%	March 2008
Diffa	425	330	77.65%	March 2008
Dosso	1,802	1,147	63.65%	March 2008
Maradi	1,902	1,093	57.47%	March 2008
Niamey	453	159	35.10%	March 2008
Tahoua	1,435	1,264	88.08%	February 2008
Tillaberi	1,834	723	60.58%	March 2008
Zinder	1,824	1,652	90.57%	February 2008
全国	9,986	6,632	66.41%	
タウア・ザンデール	3,259	2,916	89.48%	
新規 6 州	6,727	3,716	55.24%	

学校活動計画の実施状況については、各 COGES が年度末に総括表としてまとめ、住民総会で発表することになっているが、同総括表の回収率は低く、今回の調査では実施に関する情報の入手が困難であった。

## (3) その他の COGES 機能度に関する指標

今回ドッソ州において実施したインタビュー調査(サンプル数 8)による 2007-08 年度の COGES の機能度に関する指標は以下の表のとおり。サンプル数が非常に限られており一概に言えないが、フェーズ I 終了時のタウア州における COGES 機能度と比較すると大きな差がみられ、改善の余地はあると考えられる。

表 4-11 インタビュー調査結果(対象: ドッソ 8COGES)

	計画された活動数	実施された活動数	事務局会合実施数	総会実施数	COGES 活動経費
ドッソ調査結果	4.88	3.13	2.88	2.13	<b>60,881Fcf</b>
<参照>2005-06 <sup>4</sup> タウア	6.67	5.93	N/A	N/A	<b>208,586Fcf</b>

## 4-5 上位目標の達成状況

上位目標: COGES による学校運営を通じて基礎教育の質とアクセスが向上する。

指標① 総就学率の変化

指標② 留年率の変化

指標③ 退学率の変化

指標④ 修了率の変化

<sup>4</sup> フェーズ I 終了時評価調査報告書による。サンプル数は 1170。

上位目標の達成には様々な要因が絡み、現段階でプロジェクトの貢献度について一概には言えないが、フェーズ I が開始された 2004 年以降、国民教育省とドナーとの協力の結果、ニジェールにおける基礎教育の質とアクセスに関する指標には、以下の表（指標①、④および入学総登録率、入学者における男女格差の統計を入手）のとおり改善がみられる。本調査において、国民教育省と JICA はプロジェクトを通じた COGES の設置と機能化が教育指標の改善に大きく貢献しているとの認識を共有した。今後も COGES 機能の強化により学校運営がさらに改善され、児童の学習環境が整えば、より高い数値目標の達成が見込まれる。

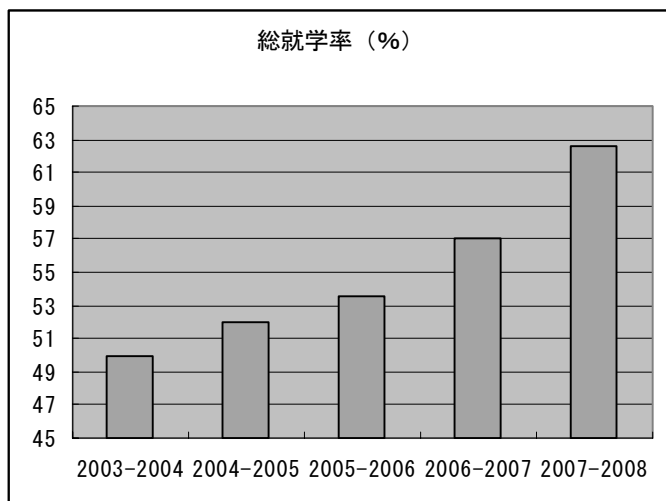


図 4-4 総就学率

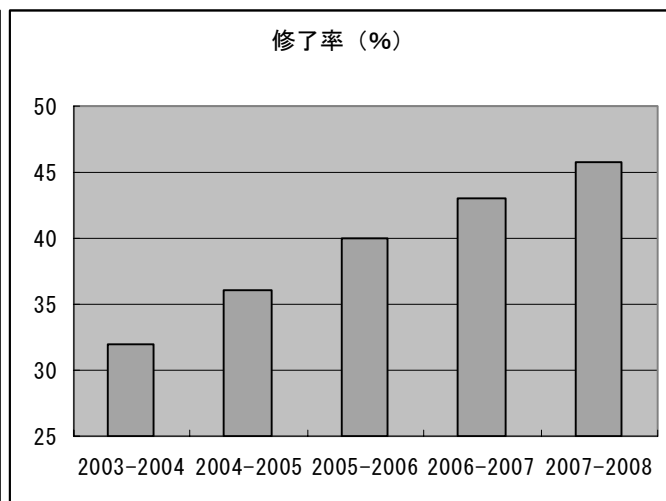


図 4-5 修了率

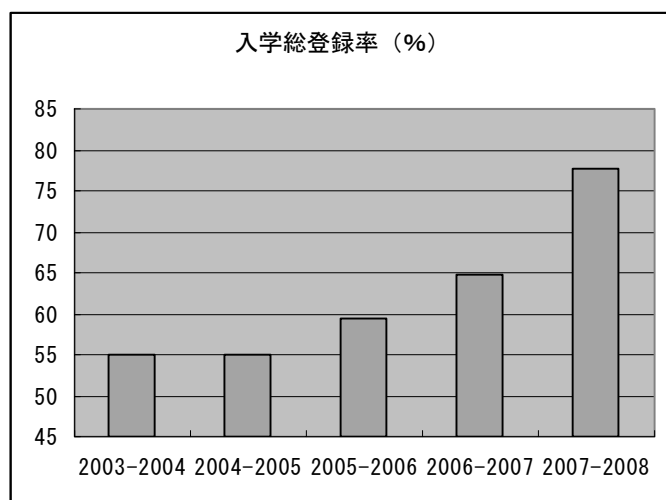


図 4-6 入学総登録率

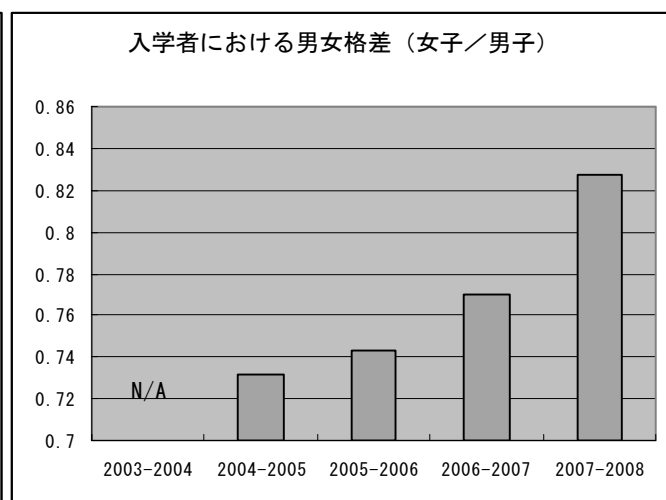


図 4-7 入学者における男女格差

(データ：国民教育省統計)

## 第5章 中間レビュー結果

### 5-1 評価5項目による評価

#### 5-1-1 妥当性： 非常に高い

##### (1) ターゲットグループのニーズとの整合性

現地のニーズに基づいた学校運営改善はコミュニティと児童のニーズに合致するものである。本フェーズの対象地域は、フェーズIでは対象外だった6州を含む全8州（全国）であり、公平性の観点からも妥当である。

##### (2) ニジェールの国家政策との整合性

プロジェクト目標と上位目標はニジェールの国家政策に合致している。教育の地方分権化の一環として住民参画型の学校運営を促進することは教育開発10カ年計画（PDDE）に明記されており、そのための具体的な方策としてCOGES政策の実施が掲げられている。また、2008年10月に発表されたCOGES連合設立に関する国民教育省省令では、COGES連合はコミューンの管轄下にあると規定され、地方分権化（コミューンがCOGES連合を管理、支援する権限）が強化されている。

##### (3) 日本の援助政策との整合性

2008年5月に開催のTICADIVにて採択された横浜行動計画において、学校運営改善モデルによる支援対象を西アフリカにおいて10,000校に拡大することを表明しており、日本の援助政策に合致している。

対ニジェールJICA国別事業実施計画（2008年7月）において、援助重点分野である教育分野の開発課題「基礎教育開発」に対応するプログラムとして「初等教育開発」が設定されており、本プロジェクトは同プログラムの中核案件として位置づけられている。

##### (4) アプローチの妥当性

プロジェクトの学校運営モデル（民主選挙によるCOGES委員の選出、学校活動計画の策定と実施、COGES担当官とCOGES連合によるモニタリング）はフェーズIにおいて適切性が確認されている。COGES委員に対するインタビューにより、民主選挙はCOGESの機能化ならびに住民総会を通じた透明性の確保に重要なCOGES委員のやる気を増大させることにも寄与していることが確認された。

また、学校活動計画の策定・実施プロセスが外部者ではなく住民自身によってなされることが、計画の確実な実施の大きな要因となっている。住民参画による教育開発は、政府のリソースが限られているニジェールにおいて妥当なアプローチである。

#### 5-1-2 有効性： 高い

##### (1) プロジェクト目標の達成状況

全国のほぼすべての学校（97%）においてCOGESが民主的に設置された。COGESの機能度を表す指標となる学校活動計画提出率は66%にとどまっているが、モニタリング体制の強化による改善が期待され、プロジェクト目標であるCOGESの「全国普及」と「機能化」に着実な進捗がみられる。ただし、プロジェクト目標の指標に目標数値が設定されていないため、目標達成状況を具体的に評価することが困難となっている。データの入手可能性を考慮した代替指標の設定を検討する必要がある。

## (2) 成果のプロジェクト目標への貢献度

教育行政官に対する導入研修や校長に対する民主選挙研修は COGES 設置に、COGES 委員に対する学校活動計画研修は計画策定に帰結していることは明らかであるが、これらの研修と COGES 機能化の因果関係には地域によりばらつきがみられる。都市化にともない住民の連帯が弱いニアメ州や、安全上の理由からプロジェクトが入れないアガデス州においては、設置・機能化レベルが比較的低い。ニアメ州については、残りの協力期間において改善の余地がある。

全国の教育行政官（州国民教育事務所長、COGES 監督官、県視学官、COGES 担当官）を対象としたワークショップやセミナーにより、モニタリングに必要な地方行政官の能力が強化されている。COGES 担当官については、担当官会議における経験共有や議論によって問題解決のための技術支援の能力を身につけている。COGES 委員に対するインタビューによると、COGES へ補助金が供与された際に COGES 担当官が補助金使途ルールや手続きを指導した結果、適切に使用された例や、住民総会に COGES 担当官が出向き、児童を学校へ行かせたがらない親の説得に成功した例などが報告され、COGES の抱える問題の解決促進に COGES 担当官が大きく貢献していることが確認された。

また、コミュニティ幼稚園、フォーラム・アプローチ、視学官会議といった COGES を通じた教育改善活動モデルの構築は、「第 4 章 計画達成度」でも述べたように COGES の機能強化・定着に貢献している。

全体として、モニタリング体制の構築に遅れがみられるものの、成果は概ね順調に発現しており、プロジェクト目標の達成に貢献することが期待される。

### 5-1-3 効率性： 中程度

#### (1) 成果の達成度と投入の適切さ

プロジェクトの活動と投入は概ね計画通り実施され、計画通りの成果を産出している。日本側の投入としては、わずか 3 名の専門家の投入により COGES の全国普及が 1 年で達成されたことから適切であると判断される。ただし、見返り資金運用開始と COGES 担当官用バイク供与の遅延がモニタリング体制の構築に遅れをもたらし、その活動が制限されている。

#### (2) 現地リソースの活用

学校と COGES に対する財政的な投入はされておらず、コミュニティのイニシアティブ、潜在能力を最大限に引き出す戦略は有効に機能している。また、コミュニティと COGES 連合の連携が COGES 連合設置に関する省令に規定されたことで、COGES 連合の活動にコミュニティの積極的な支援が得られる事例が複数報告されている。

#### (3) フェーズ I の経験と技術支援の活用

フェーズ I で開発された戦略、アプローチ、技能、知識、人的資源、ネットワーク、ロジスティックスが最大限に活用されている。

#### (4) 他ドナーとの協力

COGES の全国普及に関する研修は世銀の財政的支援によって、またコミュニティ幼稚園の普及は UNICEF との連携に基づいて実施された。

### 5-1-4 インパクト： 高い

#### (1) 上位目標の達成見込み

フェーズ I 開始の 2004 年以降、総就学率・修了率などニジェールの教育指標には改善がみられ

る。本調査において、国民教育省と JICA はプロジェクトを通じた COGES の設置と機能化がその大きな貢献要因になっているとの認識を共有した。また、フォーラム・アプローチによる女子就学キャンペーンは、タウア州、ザンデール州における就学率の男女格差縮小に直接的なインパクトを与えている。今後、全国において COGES 機能の強化により学校運営がさらに改善され、児童の学習環境が整えば、より高い数値目標の達成が見込まれる。

## (2) 周辺の仏語圏諸国との経験共有（周辺国への波及効果）

ニジェールにおいて有効性が実証された COGES モデルをもとに、セネガル、マリにおいても同様の学校運営改善プロジェクトが実施されている。ブルキナファソにおいてもプロジェクト実施に向けたパイロット事業を実施中である。これらの国に対して、プロジェクトがその経験を共有したり、プロジェクトスタッフが技術支援を行ったりする事例も出てきている。

## (3) その他の波及効果

COGES が就学前教育（コミュニティ幼稚園）、中等教育（中学生のための寮の提供）、保健分野（保健ポストの設置・運営）など、初等教育以外の分野の開発に取り組んでいる事例が報告されている。

### 5-1-5 自立発展性： 中程度

#### (1) 政策面

COGES を通じた住民参画型の学校運営を促進することは、教育開発 10 年計画（PDDE）に明記されている。COGES、COGES 連合のモデルは、国民教育省よりこれらの設置・強化に関する省令が発表され、国家レベルで公式化されており、政策的な自立発展性は高いと判断される。学校活動計画の実施をはじめとする COGES や COGES 連合による様々な活動の成果は、国民教育省はもとより他ドナーからも認められ、その政策に反映されている。

#### (2) 組織面

中央レベルに COGES 推進室、州レベル（州国民教育事務所）に COGES 監督官、県レベル（視学官事務所）に COGES 担当官が配置されており、COGES 政策を持続的に推進していくための組織体制は整備されている。フェーズ I の中にタウア州、ザンデール州ですべてのコミューンに設置された COGES 連合は、省令に基づき各州（アガデス州を除く）において設置が開始され、同じくプロジェクトが導入した視学官会議が制度化されるなど、さらに強化されつつある。

#### (3) 財政面

COGES は地域住民からの分担金や寄付金により活動を実施しており、COGES 連合については COGES からの分担金を主な財源とし、活動を維持できることが期待されている。COGES 連合設置に関する省令ではコミューンと COGES 連合の協力が奨励され、多くのコミューンが COGES 連合を財政・物質的に支援している。

COGES 担当官によるモニタリング経費は、現在見返り資金から支出されているが、同資金の運用終了後の予算手当については、財政支援や日本社会開発基金（Japan Social Development Fund: JSDF）（TICADIV 特別枠）の活用などいくつかの選択肢を含め、今後検討していく必要がある。

#### (4) 技術面

COGES 監督官、COGES 担当官は COGES 政策を十分に理解している。COGES 全国普及に関する研修を成功させるなど、その実施能力も高い。COGES 連合、COGES に対するモニタリング能力、技術支援能力については、COGES 担当官月例会議などを通じて強化が図られている。

COGES 連合については、現在設置のための研修が新規 6 州で実施されているが、既に活動しているタウア州、ザンデール州の COGES 連合は、COGES 担当官によるモニタリングの一時中断により活動実績に低下がみられたことから、COGES 連合の機能化には COGES 担当官によるモニタリングと指導が不可欠であるといえる。

## (5) 社会面

COGES の活動は住民の分担金に支えられているが、天水農業で生計を立てている住民が多いコミュニティでは、収穫量が天候により大きく左右されるため、同地域の学校の活動内容もそれに大きく影響を受ける。インタビューによると、活動規模の縮小のほか、住民の意思にかかわらず両親がコミュニティ幼稚園へ児童を送れないケースがあった。コミュニケーションから COGES 連合への財政支援にも大きな差がみられ、都市・村落格差があることが判明している。これらの格差を少しでも緩和するためには、何らかの工夫をしていく必要がある。

## 5-2 貢献要因と阻害要因の検証

### 5-2-1 効果発現に貢献した要因

#### (1) COGES 委員、COGES 連合委員の民主選挙による選出

COGES モデルミニマムパッケージの要素である民主選挙による選出は、組織の透明性を確保するだけでなく、COGES 委員、COGES 連合委員が無報酬にもかかわらず喜んでその任務を果たすモチベーションとなっている。

#### (2) COGES 担当官月例会議

COGES 担当官月例会議は COGES モニタリングのシステムとして機能しているだけでなく、経験を共有し、課題について議論することにより、COGES 担当官の能力強化にも寄与している。

#### (3) COGES 担当官による技術支援

COGES 担当官が COGES 連合、COGES の問題解決に貢献した事例が複数報告され、COGES 担当官によるモニタリングと指導が COGES 連合、COGES の機能化に大きな役割を果たしていることが確認された。ザンデール州グレ県ギディギルコミュニケーションでは、いつでも相談に応じてくれる COGES 担当官への感謝を表し、感謝状が贈られた。

#### (4) コミュニーションとの連携

COGES 連合設置に関する省令の公布、コミュニケーション長の COGES 連合設置研修への参加、コミュニケーションによる COGES 連合に対する経済的・物質的支援など、COGES 連合とコミュニケーションの連携は、COGES 連合の機能強化に貢献し、コミュニケーションレベルにおける教育開発を促進している。

#### (5) 他ドナーとの連携

COGES 運営によるコミュニティ幼稚園普及のための UNICEF との連携については、プロジェクトが設置・運営・モニタリングを研修し、UNICEF が保育者研修や教材を提供する相互補完的な連携が有効に機能している。

世銀との連携については、5 項目評価（効率性）でも述べたとおり、COGES モニタリング用バイクの供与は遅延しているが、COGES 設置にかかる一連の研修費用は提供され、計画通り実施された。

## 5-2-2 問題点と問題を引き起こした要因

### (1) 見返り資金の運用開始の遅れ

2008年2月頃に見込まれていた見返り資金の運用開始が、2009年1月まで遅れたことにより、COGES モニタリングシステムの構築に遅れが生じている。

### (2) COGES 担当官用バイク供与の遅れ

世銀の支援によって2007年2月頃に予定されていたCOGES 担当官用のバイク供与がまだ(調査時)実現していないことで、COGES 担当官によるモニタリングの実施が困難になっている。

### (3) アガデス州における治安の悪化

アガデス州の治安悪化により、現地でのプロジェクト活動実施が不可能になっている。隣接州(タウア州)で関係者会合などを行うにも限界がある。

### (4) ストライキ

教員によるストライキは、授業時間数の減少をもたらすだけでなく、学校に対する否定的な印象を児童や保護者に与え、就学意欲を低下させるため、プロジェクトが推進する教育のアクセス・質の改善キャンペーンなどに影響を与えてしまっている。

この点について、ザンデル州の視学官会議によって奨励された視学官による学校訪問は、教員の欠勤やストライキを減らすのに効果があった。COGES による教員への支援(食糧や家屋の提供)も、特に農村地域において、教員のストライキ参加を思いとどまらせる効果があった。

## 5-2-3 その他の特記事項

### (1) 補助金政策

ニジェールの補助金政策に先行し、世銀によってパイロット補助金供与が実施された。同パイロットプロジェクトでは、①用途を指定された群、②用途をモニタリングすると通知された群、③何の指示も受けなかった群の3群に分けられ、各COGESに7万Fcfaが交付されたが、プロジェクトの目的についても特に説明がなかった。補助金の用途が世銀によって限定されることや、COGESが学校活動計画の優先度に基づいて補助金を使用した場合、これがミスユースとして扱われるなど、住民のニーズとの不一致について教育行政官から不平の声があった。補助金は、自己資金の限られたCOGESにとっては貴重なリソースであるが、COGESに運営管理能力が備わっていること、コミュニティに対するアウトリーチができていることが前提であるが、ニジェールの政策に鑑み、補助金は避けて通れない問題だといえる。

## 5-3 結論

プロジェクトが取り組むCOGESの全国普及と機能化を通じた教育改善は、ニジェールの国家政策や受益者となるコミュニティ、児童のニーズに合致しており、妥当性は非常に高い。活動と投入も概ね問題なく実施されており、COGESの全国普及はほぼ達成され、コミュニティ幼稚園やフォーラム・アプローチ、視学官会議といった教育改善につながるモデルの構築も進んでいる。ただし、見返り資金の運用開始やCOGES 担当官用バイク供与の遅延により、COGES モニタリング体制の構築に遅れが生じている。今後のプロジェクト活動の成功のためには、特にこれらの部分について国民教育省のさらなるコミットメントが必要である。

COGESの機能化のためには、COGES 担当官の役割が非常に重要であることが確認された。このプロジェクト目標達成に向けて、今後はCOGES 担当官の能力強化を優先課題として取り組んでいくことが求められる。

## 第6章 提言

### 6-1 短期的な観点からの提言

#### (1) COGESのさらなる機能強化

COGESの機能強化の鍵となるのがCOGES担当官の能力強化である。COGES担当官月例会議がCOGES担当官の能力強化に大きく貢献していることから、国民教育省が同会議の定期的な開催に必要な予算を支出し、プロジェクトが同会議開催を技術的に支援していくことが期待される。

#### (2) COGES担当官用バイクの早期供与

COGESの機能化に不可欠なCOGES担当官による十分なモニタリングを可能にするため、バイクが早期に供与されるよう必要な手続を促進する必要がある。

#### (3) 集会型モニタリングの質の向上

現在進められているCOGES連合の設置完了後、新規6州においてもタウア州、ザンデール州同様COGES担当官によりCOGES連合モニタリングが開始されるが、集会型モニタリングの質の向上のためには、アセスメント能力と問題解決能力の強化が必要である。タウア州、ザンデール州における集会型モニタリングによるCOGES機能化の経験から成功例を分析、分類し、対応例を集積したマニュアルなどの作成も一案である。

#### (4) 県視学官との関係・能力強化

県レベルの教育開発の責任者である視学官の能力強化は、プロジェクト活動の促進に大いに貢献する可能性を持つ。制度化された視学官会議の支援を通じ、COGES（特に機能していないCOGES）の適切・効率的なモニタリングについて技術支援を行い、COGES担当官によるCOGES連合モニタリングとの相互補完を図れば、効率的であろう。また、視学官によるCOGES政策の実施に関する経験共有の促進も重要である。

#### (5) 見返り資金の適切な運用

モニタリングの適切な実施のためには、見返り資金の定期的な支出が不可欠である。適切な支出を保証するため、資金運用計画を策定し、関係省庁の承認を得ることを提言する。

#### (6) プロジェクトの効率的な運営

全国展開によって増大している活動に対応するため、プロジェクトチーム内の情報共有、業務分担、活動の優先順位付け（選択と集中）など、さらに効率性を重視した活動をしていく必要がある。

#### (7) フォーラム・アプローチの他州への拡大

タウア州、ザンデール州において目覚ましい成果をあげたフォーラム・アプローチに基づくキャンペーンを、他州でも実施することでニジェール全体の教育開発が促進されることが期待される。住民の教育に関する共通のニーズ、ニジェールの教育開発政策、国際的教育開発潮流に沿ったテーマを取り上げることにより、高い効果の発現が期待される。国民教育省による州フォーラムの開催、キャンペーンの計画・実施をプロジェクトが技術的に支援することが重要である。

#### (8) PDMの改訂

PDMの一部に現在の活動の優先順位を反映していない部分が生じている。またプロジェクト目標の指標を含め、具体的な数値目標が設定されていない指標がある。プロジェクトの進捗と目標達成状



況を適切に評価できるよう、PDMに必要な改訂を加える必要がある。

なお、これらの改訂は9～10月に開催される予定の合同調整委員会までには承認されるよう、速やかに全州国民教育事務所長の合意を取り付ける必要がある。

## 6-2 中長期的な観点からの提言

### (1) COGES 担当官の選定基準の明確化

COGES の機能強化において COGES 担当官の果たす役割は非常に重要であるにもかかわらず、その職に就くのに何の資格も求められていない。能力の高い COGES 担当官を確保するため、選定基準を明確に設定することが望ましい。

### (2) コミュニティ幼稚園のモニタリングに関するモデルの構築

プロジェクト活動を通じて、教育開発におけるコミュニティ幼稚園の有効性が実証されつつあるが、そのモニタリングシステムは十分とはいえない。幼稚園の運営面、教授面に関する効果的なモニタリングを可能にするためには、国民教育省による就学前教育指導主事の増員が有効である。また、イレラ県におけるモニタリングシステム構築に関するパイロット事業の実施を、プロジェクトが技術的に支援できることが望ましい。

### (3) COGES に対する補助金制度導入への慎重な対応

一部ドナーが COGES に対する補助金交付制度の拡大を提案しているが、COGES に補助金を有効活用する能力が備わっていなければ、その用途について COGES とコミュニティの間にあつれきを生み、COGES 自体の機能低下をもたらす危険性もある。国民教育省が COGES の能力強化に取り組みつつ、補助金交付制度の本格実施には慎重な対応が求められる。

### (4) 仏語圏アフリカにおける経験共有の促進

学校運営改善関連の類似案件を実施する仏語圏近隣国（セネガル・マリ・ブルキナファソ）は、パイロットプロジェクトからの展開や制度化に向けた取り組み、研修マニュアルの開発など、互いに参考となる経験を有している。今後も経験共有セミナーや研修などを通じ、情報・経験の共有を一層促進していくことが望ましい。

## 付属資料

1. ミニッツ（英文）
  - 添付資料
    - ・ 投入実績
    - ・ プロジェクト・デザイン・マトリクス（PDM）
    - ・ コミュニティ幼稚園 5 項目評価
    - ・ 活動計画表（PO）
    - ・ 評価グリッド調査結果
2. ミニッツ（仏文）
  - 添付資料
    - ・ 投入実績
    - ・ プロジェクト・デザイン・マトリクス（PDM）
    - ・ コミュニティ幼稚園 5 項目評価
    - ・ 活動計画表（PO）
3. 評価グリッド（和文）
4. 評価グリッド（英文）
5. 評価グリッド調査結果（和文）
6. 質問票
7. 質問票調査結果
8. インタビュー項目
9. 面談・視察録
10. 現地調査報告書

**MINUTES OF MEETING  
BETWEEN  
JAPANESE MID-TERM REVIEW TEAM AND  
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF  
THE REPUBLIC OF NIGER  
ON  
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION  
FOR  
THE PROJECT ON SUPPORT TO THE IMPROVEMENT OF  
SCHOOL MANAGEMENT THROUGH COMMUNITY PARTICIPATION  
("SCHOOL FOR ALL") PHASE II**


The Japanese Mid-term Review Team (hereinafter referred to as "the Team"), organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") headed by Mr. Masahiro HARA, visited the Republic of Niger from 8 February to 27 February 2009 for the purpose of the mid-term review of the Project on "Support to the Improvement of School Management through Community Participation ("School for All") Phase II" (hereinafter referred to as "the Project").

During its stay in Niger, the Team had a series of discussions with the Nigerien authorities concerned, jointly evaluated the achievements of the Project, and exchanged views for further improvement of the implementation of the Project.

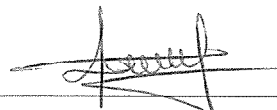
As a result of the discussions, both sides agreed upon the matters referred to in the document attached hereto.

This Minutes of Meeting has been prepared in French and English languages, each text being equally authentic. In case of any divergence in the original translation, the original text in either or both languages may be modified as appropriate upon further consultation and agreement between the two parties.

Niamey, 25 February 2009



Mr. Masahiro HARA  
Leader,  
Japanese Mid-term Review Team,  
Japan International Cooperation Agency,  
Japan



Mrs. MAIGUIZO Rakiatou Zada  
Secretary General,  
Ministry of National Education  
Republic of Niger

**ATTACHED DOCUMENTS**

**TABLE OF CONTENTS**

**List of Abbreviations and Acronyms**

**1. INTRODUCTION.....3**

- 1-1. Preface
- 1-2. Objectives of the Review
- 1-3. Schedule of the Review
- 1-4. Members of the Review Team
- 1-5. Methodology of Evaluation

**2. EVALUATION.....6**

- 2-1. Achievement of the Project
- 2-2. Results of the Evaluation
- 2-3. Conclusion

**3. RECOMMENDATIONS.....22**

**ANNEXES**

ANNEX 1. Inputs to the Project

- 1-1. List of Japanese Experts
- 1-2. List of Main Machinery and Equipment Provided by JICA
- 1-3. List of Participants in Training in Japan
- 1-4. List of Nigerien Counterparts
- 1-5. List of Land, Buildings and Facilities

ANNEX 2. Project Design Matrix

ANNEX 3. Evaluation on Community pre-school by the Five Criteria

ANNEX 4. Plan of Operation and the Progress of Activities

ANNEX 5. Evaluation Grid

- 5-1. Achievement of the Project
- 5-2. Process of the Project Implementation
- 5-3. Evaluation by the Five Criteria

*RS*

*n*

## List of Abbreviations and Acronyms

APP	Activités Pratiques Productives (Practical and Productive Activities)
COGES	Comités de Gestion des Établissements Scolaires (School Management Committee)
C/P	Counterpart
CP/COGES	Cellule de Promotion des COGES (Section of COGES Promotion)
DAC	Development Assistance Committee
DEP	Direction des Études et de la Programmation (Department of Studies and Programming)
DGEB	Direction General de l'Enseignement de Base / Directeur General de l'Enseignement de Base (General Department of Basic Education / General Director of Basic Education)
DREN	Direction Régionale de l'Éducation Nationale / Directeur Régionale de l'Éducation Nationale (Regional Office of National Education / Director of the Regional Office of National Education)
EPT	Ecole Pour Tous (School for All Project)
FCC	Fédération Communale des COGES (Communal Federation of COGES)
JICA	Japan International Cooperation Agency
JOCV	Japan Overseas Cooperation Volunteer
MEN	Ministère de l'Éducation Nationale (Ministry of National Education)
M/M	Minutes of Meeting
NGO	Non-governmental Organization
ONEN	Organisation Nigérienne des Educateurs Novateurs
PADEB	Projet d'Appui au Développement de l'Éducation du Base (Project of Supporting Development in Basic Education)
PDDE	Programme Décennal de Développement de l'Éducation (Ten-Year Educational Development Plan)
PDM	Project Design Matrix
PO	Plan of Operations
R/D	Record of Discussions
SG	Secretary General
TICAD	Tokyo International Conference on African Development
UNICEF	United Nations Children's Fund
WB	the World Bank

## 1. INTRODUCTION

### 1-1. Preface

The Project was launched in August 2007 and its duration is to be three (3) years. With the remaining period of the Project, approximately one year and six (6) months, JICA dispatched the Team to the Republic of Niger from 8 February to 27 February 2009 for the purpose of evaluating the achievement of the Project. The mid-term review has been undertaken jointly by the Team and the Nigerien authorities concerned.

### 1-2. Objectives of the Review

Objectives of the mid-term review are as follows:

- (1) to review and evaluate the inputs, activities and achievements of the Project;
- (2) to clarify the problems and issues to be addressed for the successful implementation of the Project for the remaining period;
- (3) to assess the rationale for the continuation of the Project based on review and evaluation;
- (4) to make recommendations for activities in the remaining period; and
- (5) to review and revise the Project Design Matrix (PDM) if necessity arises.

### 1-3. Schedule of the Review Team

Date	Day	Activities
8 Feb	Sun	Arrival at Niamey
9 Feb	Mon	Interview with Japanese Experts Move to Tahoua
10 Feb	Tue	Site visit (Tahoua) Move to Zinder Site visit and interview (Zinder)
11 Feb	Wed	Site visit and interview (Zinder)
12 Feb	Thu	Site visit and interview (Zinder)
13 Feb	Fri	Site visit and interview (Zinder) Move to Tahoua Site visit and interview (Tahoua)
14 Feb	Sat	Site visit and interview (Tahoua) Move to Niamey
15 Feb	Sun	Analysis of Data, Documentation.
16 Feb	Mon	Courtesy Call and discussion with; • Minister of National Education (MEN) • Director-General of Basic Education, MEN • UNICEF • WB
17 Feb	Tue	Move to Dosso Site visit and interview (Dosso) Move to Niamey

18 Feb	Wed	Move to Tillabéri Site visit and interview (Tillabéri) Move to Niamey
19 Feb	Thu	Preparation of M/M Draft Move to Tillabéri Site visit and interview (Tillabéri)
20 Feb	Fri	Discussion with Japanese Experts Preparation of M/M Draft
21 Feb	Sat	Preparation of M/M Draft
22 Feb	Sun	Preparation of M/M Draft
23 Feb	Mon	Experience Sharing Seminar Discussion on M/M with C/Ps
24 Feb	Tue	Joint Coordination Committee Finalizing of M/M
25 Feb	Wed	Signing of M/M
26 Feb	Thu	Documentation and Discussion within the Team
27 Feb	Fri	Departure from Niamey

#### 1-4. Members of the Review Team

##### (1) Ministry of National Education (MEN)

MAIGUIZO Rakiatou Zada	Secretary-General, Ministry of National Education National Coordinator of the Project	
Marou Amadou	Director-General of Basic Education, MEN	
Abdoulaye Souley	Chief, Division of Cooperation and Project, MEN	
Damana Isaka	National Coordinator of CP/COGES, MEN	
Abdou Aman	Director, Regional Office of National Education/Agadez	
Abba Baitou	Director, Regional Office of National Education/Diffa	
Asmane Guizo	Director, Regional Office of National Education/Dosso	
Erambel Iba Abdoulaye	Director, Regional Office of National Education/Niamey	
Baudin Joseph	Director, Regional Office of National Education/Maradi	
Rissa Seidi	Director, Regional Office of National Education/Tahoua	
Ali Issa Waly	Director, Regional Office of National Education/Tillabéri	
Ali N'Diaye Ibrahim	Director, Regional Office of National Education/Zinder	

##### (2) Japanese Mid-term Review Team

Mr. Masahiro Hara	Leader	Senior Advisor, JICA
Ms. Nana Kondo	Education Planning	Advisor, West and Central Africa Division II, Africa Department, JICA
Mr. Chigiru Yamashita	Cooperation Planning	Basic Education Division II, Basic Education Group, Human Development Department, JICA
Mr. Takafumi Miyake	Evaluation and Analysis	Chief, Planning and Research Unit, Shanti Volunteer Association

*Handwritten mark*

*Handwritten mark*

(3) JICA Niger Office

Mr. Akira Nishimoto	Resident Representative, JICA Niger
Mr. Masayuki Kaneda	Assistant Resident Representative, JICA Niger
Mr. Abdou Moussa	Assistant in Project Planning and Coordination, JICA Niger

**1-5. Methodology of Evaluation**

The evaluation is designed to verify the following aspects based on the PDM and Plan of Operations:

- 1) Achievements of the Project based on the PDM indicators
- 2) Implementation process
- 3) Five evaluation criteria of DAC

Definitions of the criteria are as follows;

Relevance	Relevance of the project plan was reviewed in terms of the validity of the project purpose and the overall goal in connection with the development policy of the Government of Niger, aid policy of the Government of Japan, needs of beneficiaries, and by logical consistency of the project plan.
Effectiveness	Effectiveness was assessed by evaluating the extent to which the Project had achieved its purpose and by clarifying the relationship between the purpose and outputs.
Efficiency	Efficiency of the project implementation was analyzed by focusing on the relationship between outputs and inputs in terms of timing, quality and quantity of inputs.
Impact	Impact of the Project was assessed on the basis of both positive and negative influences caused by the Project.
Sustainability	Sustainability of the Project was assessed in terms of political, institutional, financial and technical aspects by examining the extent to which the achievements of the Project would be sustained or expanded after the Project period.

Conclusions were drawn from the results of the study and recommendations were made by the Team.



## 2. EVALUATION

### 2-1. Achievements of the Project

#### 2-1-1 Outputs

- Output 1: Capacity of actors related to COGES is developed at all levels
- Output 2: COGES monitoring system is established
- Output 3: A model of school improvement activities conducted by COGES is established

With the efforts of both the Nigerien and the Japanese sides, most of the planned activities have been implemented successfully and outputs are being produced which is expected to contribute to the attainment of the Project Purpose. However, some activities related to the establishment of the COGES monitoring system is behind the original schedule because of the delay in disbursement of the Counterpart Funds.

The status of the attainment of each output is as follows:

Output 1: Capacity of actors related to COGES is developed at all levels

(1) Capacity development of local administrators

The capacity of local administrators related to COGES has been developed through training and seminars as shown in the table below.

Time	Title of Training or Seminar	Main Contents	Participants
Jun 2007	Introductory Workshop	COGES policy, democratic election	DREN(8), COGES supervisors(8)
Sep 2007	Experience Sharing Seminar	Report on the result of training on democratic election	DREN(8), COGES supervisors(8), COGES officers(51)
Sep 2007	Introductory Workshop	School action plan, financial management	COGES supervisors (8), COGES officers(51)
Mar 2008	Experience Sharing Seminar	Report on the result of training on democratic election and school action plan	DREN(8), COGES supervisors(8), COGES officers(51)
Oct 2008	Experience Sharing Seminar	Planning of training on FCC establishment, report on the result of campaigns based on the forum approach	DREN(8), COGES supervisors(8), COGES officers(51)

Regional Directors of National Education (DREN), COGES supervisors, inspectors and COGES officers understand the COGES strategy well and are capable to plan and conduct training for COGES members, monitor COGES activities and provide technical support to COGES. COGES officers' meeting and inspectors' meeting, which was first introduced to Tahoua and Zinder, have also contributed much to their capacity development. The holding of these meetings has been expanded to other regions.

(2) Capacity development of COGES members

6,579 principals (over 99% of the expected number<sup>1</sup>) have participated in the training on democratic election of COGES members in Agadez, Diffa, Dosso, Maradi, Niamey and Tillaberi<sup>2</sup> as shown in the table below. World Bank supported the training financially.

	Expected No of Participants	No of Participants (Principals)	Participation rate
Agadez	364	364	100.00%
Diffa	425	425	100.00%
Dosso	1802	1795	99.61%
Maradi	1868	1868	100.00%
Niamey	493	453	91.89%
Tillaberi	1860	1870	100.54%
Total	6,812	6,579	99.46%

13,267 COGES members (over 98% of the expected number<sup>3</sup>) have participated in the training on the development of school action plans in Agadez, Diffa, Dosso, Maradi, Niamey and Tillaberi<sup>4</sup> as shown in the table below. World Bank supported the training financially.

	Expected No of Participants	No of Participants	Participation rate
Agadez	728	622	85.44%
Diffa	850	769	90.47%
Dosso	3608	3604	99.89%
Maradi	3736	3748	100.32%
Niamey	984	916	93.09%
Tillaberi	3558	3608	101.41%
总计	13464	13267	98.54%

## Output 2: COGES monitoring system is established

### (1) Development and revision of COGES monitoring manuals and guidelines

Manuals and guidelines on the establishment of communal federations of COGES (FCC) and monitoring of COGES have been developed and revised as planned.

### (2) Official adoption of the FCC model

The FCC model had been adopted at the national workshop hosted by MEN in July 2008. In October 2008, the ministerial ordinance of the establishment, duty, structure and function of FCC had been published. The ordinance provides that FCC should be given a clear function and duty on monitoring COGES.

### (3) Establishment and functionalization of FCC

#### (i) Tahoua and Zinder

In the 2 regions, 99 FCC had been established and functionalized during the Phase I of the Project. However, a decline in functionality of FCC had been observed during the interruption

<sup>1</sup> Expected number at the planning stage.

<sup>2</sup> Training in Tahoua and Zinder had been conducted during the Phase I of the Project.

<sup>3</sup> Expected number at the planning stage.

<sup>4</sup> Training in Tahoua and Zinder had been conducted during the Phase I of the Project.

of monitoring by COGES officers due to the delay in disbursement of the Counterpart Funds in 2008. Although FCC showed a recovery in some parts of the functionality after the monitoring was resumed, indicators which demonstrate the degree of functionality in 2008-09 is generally lower than those of the previous year especially in numbers of the meetings conducted as shown in the table below<sup>5</sup>.

		Average No of secretariat meetings conducted	Average No of general meetings conducted	Collection rate of the school action plan	Collection rate of the summary of the previous year's school action plan implementation
Tahoua	07-08	7.0	2.8	88.1%	N/A
	08-09	3.4	1.7	85.6%	43.7%
Zinder	07-08	7.3	3.8	90.6%	N/A
	08-09	3.1	1.4	92.9%	N/A

		2 <sup>nd</sup> action plan development rate	Average No of activities planned	Average No of activities implemented	Average amount of mobilized resources
Tahoua	07/08	100%	2.8	2.5	500,202 Fcfa
	08/09	97.7%	N/A	N/A	129,885 Fcfa
Zinder	07/08	100%	2.3	2.3	201,712 Fcfa
	08/09	98.2%	N/A	N/A	87,630 Fcfa

(ii) The other 6 regions

Training on FCC establishment has been conducted from October 2008 to January 2009 in the 149 communes in Diffa, Dosso, Maradi, Niamey and Tillaberi<sup>6</sup>. 6,423 COGES (99.4% of the expected number<sup>7</sup>) have participated in the training. After the training, 67 FCC have been established in the 5 regions so far (as of 15 February 2009).

(4) Monitoring by local administrators

(i) Tahoua and Zinder

COGES officers have been visiting FCC regularly in order to monitor the activities of COGES and give them technical support if necessary. COGES officers' monthly meeting has been held regularly. COGES supervisors are supporting the COGES officers through attending the meetings and reporting the results to DREN and C/P COGES.

(ii) The other 6 regions

COGES officers have been visiting COGES in order to monitor the activities of COGES and

<sup>5</sup> Data of 2007-08 is correct as of February 2008. Data of 2008-09 is correct as of February 2009.

<sup>6</sup> Training in Agadez has been postponed because of the insecurity situation. Although the total number of communes in the 5 regions is 151, 2 communes in Diffa have been exempted because more than 2/3 of the COGES locates over 100 km far from the commune office, which cause difficulty in functionalizing the FCC.

<sup>7</sup> Expected number at the planning stage.

give them technical support if necessary. However, most of the COGES officers are having difficulties in monitoring activities because of the lack of transportation. Monthly meetings of COGES officers have just begun to be held after the FCC establishment training.

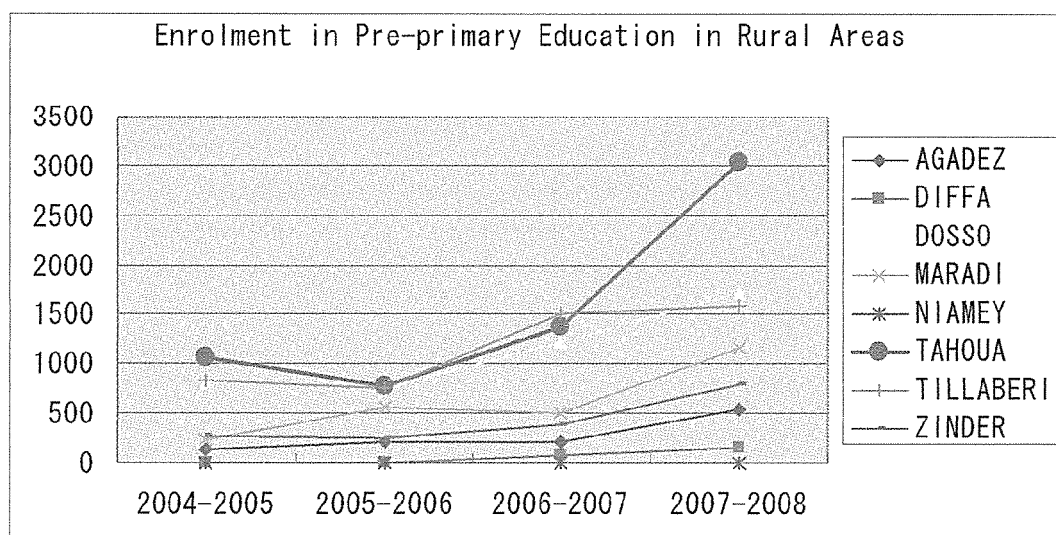
Output 3: A model of school improvement activities conducted by COGES is established

(1) Community pre-school managed by functional COGES

The project introduced the model of community pre-school managed by functional COGES to 3 COGES in Tahoua in 2006 during the Phase I of the Project. As it emerged that the community had strong needs of pre-primary education and the model demonstrated its high effectiveness and efficiency, it had been expanded rapidly with the cooperation of UNICEF. In August 2008, the model was adopted officially at the national workshop hosted by MEN. The latest number of community pre-schools managed by functional COGES is shown in the table below.

		No of community pre-schools	No of pre-schoolers	F/M of pre-schoolers
2007/08	Tahoua	27	2,131	50.4%
	Zinder	23	1,299	50.7%
	Total	50	3,430	50.5%
2008/09 (as of Feb 2009)	Tahoua	55	N/A	N/A
	Zinder	55	N/A	N/A
	Total	110	N/A	N/A

As an impact of the introduction and expansion of community pre-schools, Tahoua marked the highest enrolment of pre-primary education in rural areas in 2007-08 as shown in the figure below.



In Illéla Department which has 23 community kindergartens managed by functional COGES, the gender disparity (F/M) in new entrants for primary education improved from 0.77 in 2007-08 to 0.95 in 2008-09.

These facts show the strong impact of the community pre-school model on the access to education. The model also shows generally high relevance, effectiveness, efficiency and

*Handwritten mark*

*Handwritten mark*

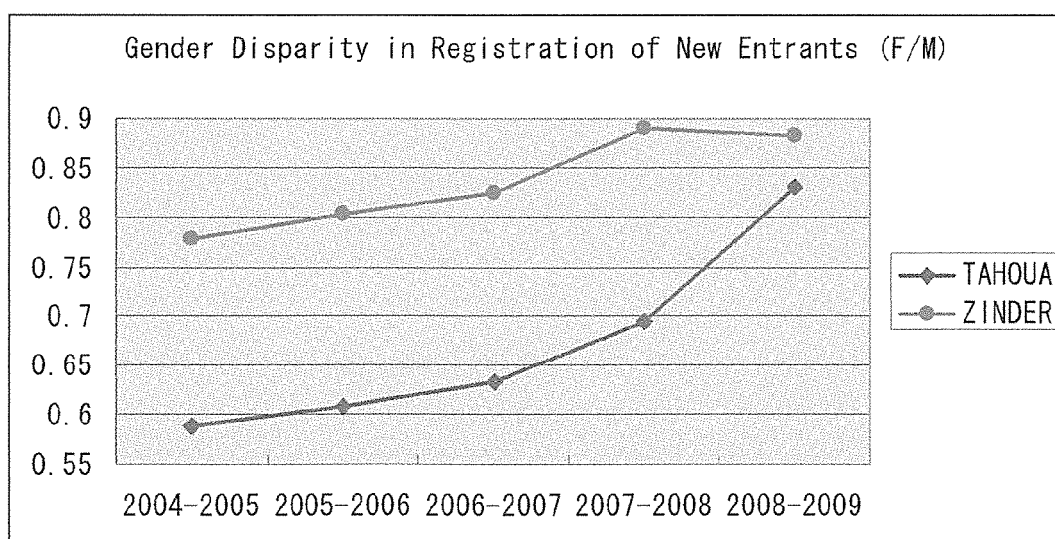
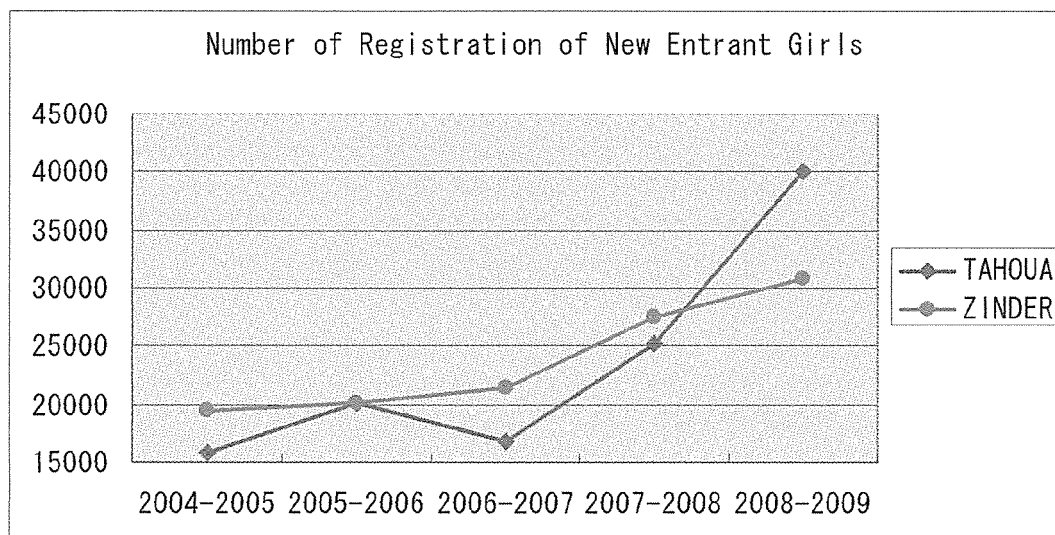
sustainability as summarized in Annex 3. Considering sustainability, however, there is need to establish an effective and efficient monitoring system on the community pre-schools.

(2) The forum approach

In Tahoua and Zinder, campaigns based on the forum approach which integrates the capacity of FCC and COGES at the regional level have been conducted and remarkable outcomes have been produced as follows, which will contribute to promote the attainment of the objectives of PDDE.

(i) Girls' enrolment promotion campaign

Girls' enrolment promotion campaigns have been conducted in Zinder from May 2007 and in Tahoua from April 2008. As a result, number of registration of new entrant girls have remarkably increased and the gender disparity have been improved as shown in the figures below.



(ii) Improvement in quality of education campaign

Improvement in quality of education campaign has been conducted in Zinder from January

*Handwritten mark*

*Handwritten mark*

2008. As a result, Zinder marked the best passing rate of 67.7% in 2007-08, which is a gain of 13.2 in percentage from the previous year as shown in the table below.

	(a) 2006-2007				(b) 2007-2008 (*PROVISIONAL)				(b) - (a)	
	Present	Pass	%	Rank	Present	Pass	%	Rank	Pont	Rank
Agadez	4,676	2,608	55.8%	1	5,088	2,916	57.3%	2	+1.5	6
Diffa	2,768	1,404	50.7%	3	3,156	1,725	54.7%	4	+4.0	5
Dosso	23,720	11,791	49.7%	4	25,567	12,552	49.1%	7	-0.6	7
Maradi	29,279	11,895	40.6%	7	35,134	13,847	39.4%	8	-1.2	8
Niamey	16,673	8,088	48.5%	5	18,107	10,351	57.2%	3	+8.7	4
<b>Tahoua</b>	<b>23,720</b>	<b>6,495</b>	<b>27.4%</b>	<b>8</b>	<b>26,054</b>	<b>12,946</b>	<b>49.7%</b>	<b>6</b>	<b>+21.3</b>	<b>1</b>
Tillabéri	22,790	10,010	43.9%	6	22,242	11,948	53.7%	5	+9.8	3
<b>Zinder</b>	<b>19,471</b>	<b>10,608</b>	<b>54.5%</b>	<b>2</b>	<b>24,471</b>	<b>16,569</b>	<b>67.7%</b>	<b>1</b>	<b>+13.2</b>	<b>2</b>
TOTAL	143,097	62,899	44.0%		159,819	82,854	51.8%			

### (3) Inspector's meeting

The project introduced the inspector's meeting to Zinder in January 2008 and to Tahoua in April 2008 for the purpose of facilitating the PDDE process of improvement in education by involving inspectors in the COGES strategy. Since September 2008, the inspector's meeting has been held monthly in the 2 regions. As the effectiveness of this meeting had been demonstrated in the 2 pilot regions, MEN institutionalized the meeting nationwide in January 2009.

Details are shown in ANNEX 5-1.

## 2-1-2. Project Purpose

Project Purpose: Structure to establish and sustain COGES is reinforced to make COGES effective nationwide

COGES have been democratically established in most of the schools nationwide. However, there is still room for improvement in terms of the functionalization of COGES.

### (1) Democratic establishment of functional COGES nationwide

In Agadez, Diffa, Dosso, Maradi, Niamey, and Tillabéri<sup>8</sup>, 6,577 schools which is 97.08% of the expected number<sup>9</sup> established COGES democratically and submitted the minutes on the establishment to their respective inspectors' office.

### (2) Development of school action plans

6,632 schools have submitted school action plans to their respective inspectors' offices in 2007-08 which

<sup>8</sup> In Tahoua and Zinder, democratic establishment of COGES had been an activity in the Phase I of the Project.

<sup>9</sup> Expected number at the planning stage.

is 66.41% of the schools nationwide.

	Number of schools	School Action Plans submitted	Submission Rate	Updated
Agadez	311	264	84.89%	March 2008
Diffa	425	330	77.65%	March 2008
Dosso	1,802	1,147	63.65%	March 2008
Maradi	1,902	1,093	57.47%	March 2008
Niamey	453	159	35.10%	March 2008
Tahoua	1,435	1,264	88.08%	February 2008
Tillaberi	1,834	723	60.58%	March 2008
Zinder	1,824	1,652	90.57%	February 2008
<b>Total</b>	<b>9,986</b>	<b>6,632</b>	<b>66.41%</b>	

### (3) Other indicators related to the functionality of COGES

Other indicators related to the functionality of COGES in 2007-08 are shown in the table below. The data had been gathered from a small interview survey conducted in Dosso<sup>10</sup> which joined the Project from the Phase II. Compared to the indicators of Tahoua at the end of the Phase I of the Project, there seems to be room for improvement in terms of functionalization.

	Average No of activities planned	Average No of activities implemented	Average No of secretariat meetings conducted	Average No of general meetings conducted	Average amount of mobilized resources
Result of the survey in Dosso	4.88	3.13	2.88	2.13	<b>60,881Fcfa</b>
<FOR REFERENCE> Tahoua in 2005-06 <sup>11</sup>	6.67	5.93	N/A	N/A	<b>208,586Fcfa</b>

Details are shown in ANNEX 5-1.

### 2-1-3. Overall Goal

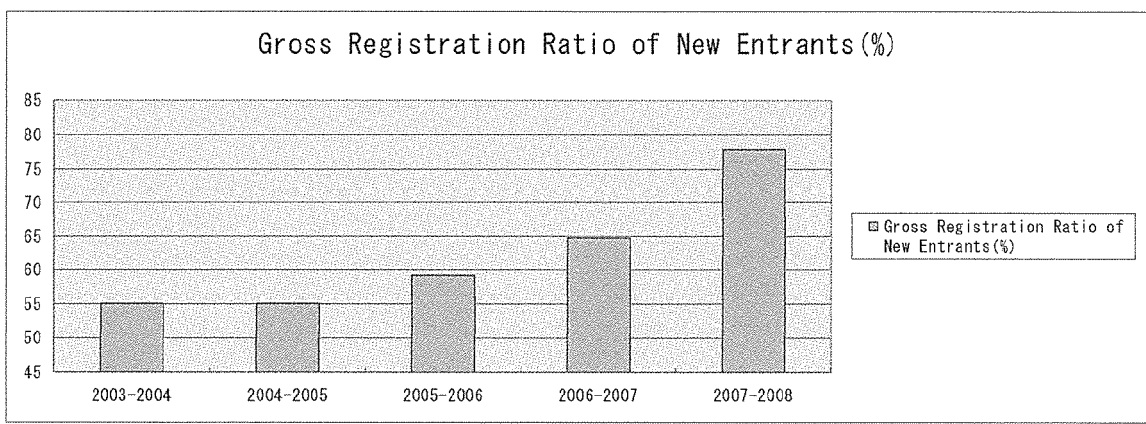
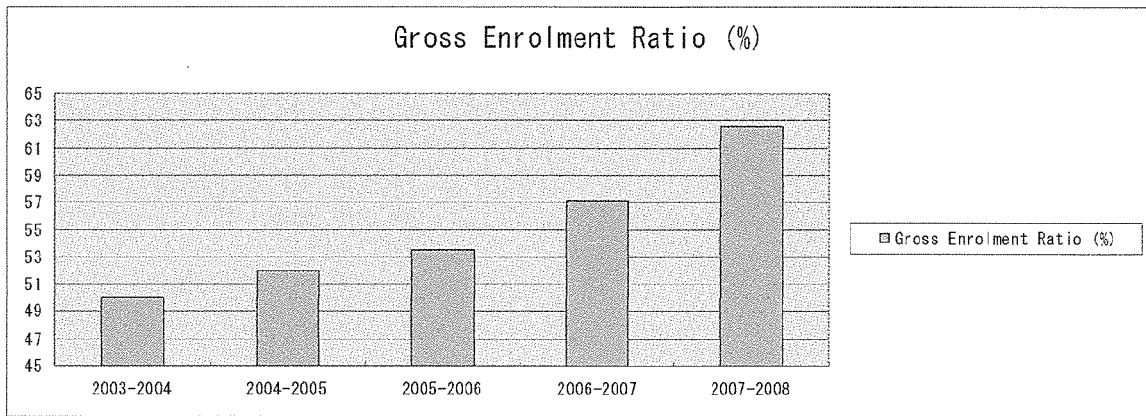
Overall Goal: Quality and access of basic education is improved by school management through community participation.

Since the Phase I of the Project started in 2004, indexes of primary education have improved as shown in the charts below. Enormous efforts made by MEN in cooperation with development partners including JICA have made this achievement possible. MEN and JICA agree that the establishment of functional COGES through project activities has been one of the major contribution factors to the improvement of access and quality of education.

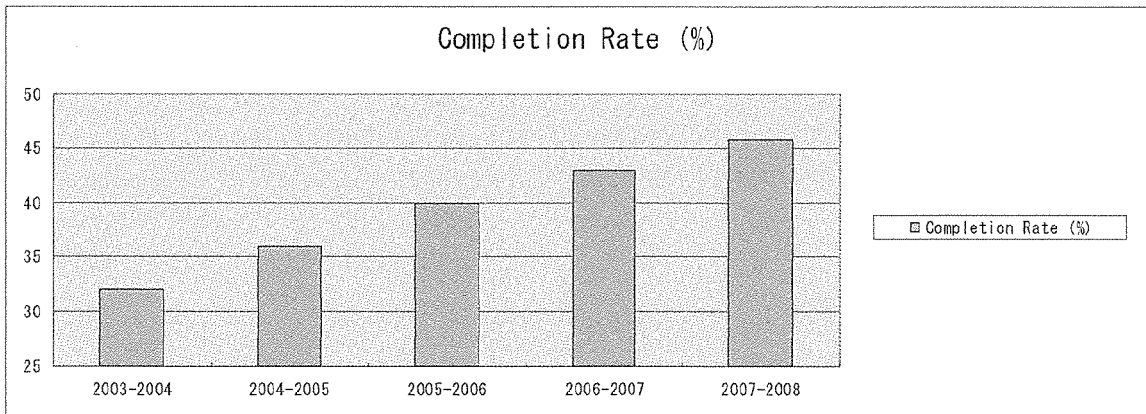
#### (1) Access and coverage

<sup>10</sup> The interview survey was conducted in February 2009. The number of sample is 8.

<sup>11</sup> The data is from the final evaluation report of the Phase I of the Project. The number of samples is 1170.

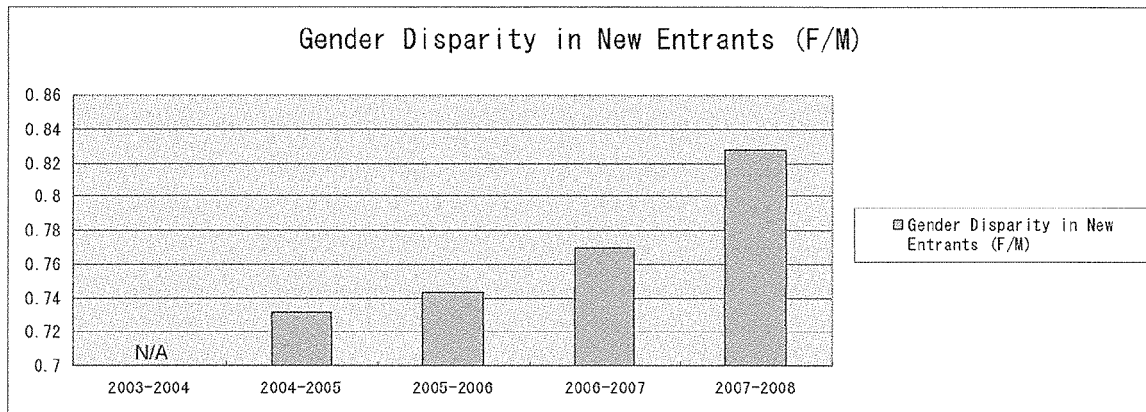


(2) Quality





(3) Equality



Details are shown in ANNEX 5-1.

## 2-2. Results of the Evaluation

### 2-2-1. Implementation Process

#### (1) Contribution factors to the process

##### (i) Monthly meeting of COGES officers

Monthly meeting of COGES officers is working as an opportunity of capacity development as well as a COGES monitoring mechanism. COGES officers gather and share experiences, learn from good practices and discuss each other how to solve problems they have. This process enables them to develop and strengthen their capacity to monitor and provide technical support to COGES.

##### (ii) Cooperation with communes

Most of the members of the communes have participated in the FCC establishment training. Some communes regularly share information with FCC, provide financial resources, facilities and materials necessary for their activities. This cooperation contributes to reinforce the functionality of FCC and to facilitate educational improvements at the communal level.

##### (iii) Democratic election of COGES members and FCC members

The interview's results pointed out that many COGES members and FCC members are very proud and happy to fulfill their duties although they work voluntarily. The main reason for this which had been frequently mentioned was the fact that they were elected by the community. Thus, it can be said that the democratic election contributes not only to the transparency of COGES and FCC but also to promote the motivation and initiative of COGES and FCC members.

##### (iv) Technical support provided by COGES officer

The interview's results pointed out that many COGES and FCC members appreciated the technical advices and support from COGES officers. Many cases that COGES officers contributed to solve the problems of COGES and FCC had been reported. One FCC had presented a testimonial letter to the COGES officer for his hard work. These facts show that COGES officers are playing an important role on the functionalization of COGES and FCC through monitoring.

#### (2) Hindering factors against the process

##### (i) Delay in disbursement of the Counterpart Funds

The disbursement of the Counterpart Funds for COGES monitoring was expected to start from February 2008. However, because of the delay in the selection process of NGO to support the management of the Funds, it had not been disbursed for a long time, and at last, the process of disbursement started in January 2009. This delay stopped the monitoring activities and caused damage to the establishment of the COGES monitoring system.

##### (ii) Delay in supplying motorbikes to COGES officers

Motorbikes for COGES officers were expected to be supplied by the support of the World Bank in February 2007. However, those have not been supplied yet, causing difficulties for COGES officers to conduct monitoring activities. Most of the COGES officers are using their private motorbikes or motorbikes borrowed from inspectors, which is limiting their performance. The situation as of February

2009 in Dosso is shown in the table below.

	Using one's private motorbike	Using motorbike borrowed from the inspector	Using official motorbike for COGES officer	Total
No of COGES officers	3	4	0	7

(iii) Insecurity in Agadez

The insecurity situation made it impossible to carry out project activities in Agadez. Training on FCC establishment has been postponed. The Project is now considering feasible means of monitoring COGES in Agadez.

For details, refer to ANNEX 5-2.

**2-2-2. Evaluation by the Five Criteria**

Results of the evaluation by the five criteria are summarized below. For details, refer to ANNEX5-3.

Relevance: Very High
<p><b>Necessity</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● The Project Purpose of establishing and functionalizing COGES nationwide corresponds to the needs of children and community for better school management based on the local demand.</li> <li>● Community pre-school is one of the activities of COGES to which the strong need of community has been identified especially in rural areas.</li> </ul> <p><b>Priority</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● The Project Purpose corresponds to the national education policy of Niger stipulated in the PDDE which aims for the enhancement of community-based school management as a part of decentralization in education.</li> <li>● Improving access and quality of basic education through community-based school management is consistent with the Japanese aid policy as Japan has pledged to expand the school management model to 10,000 schools in Western Africa at TICAD IV in May 2008.</li> </ul> <p><b>Appropriateness of Means</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● The model of functional COGES<sup>12</sup> had demonstrated its effectiveness in the Phase I of the Project. School management by the initiative of functional COGES is an appropriate strategy to address the educational issues in Niger where the resources of the government are limited.</li> <li>● The capacity development of COGES supervisors and COGES officers is an appropriate approach to ensure effective monitoring nationwide which will contribute to the functionalization of COGES. In particular, monthly meeting of COGES officers has been effectively working as a good opportunity to strengthen their capacity</li> </ul>

<sup>12</sup> The model consists of 3 components; democratic election of COGES members, development and implementation of school action plan and monitoring by FCC and COGES officers.

*Handwritten mark*

*Handwritten mark*

**Effectiveness: High****Prospect of Achieving the Project Purpose**

- COGES have been democratically established in 97% of the schools nationwide. Regarding the function of COGES, 66% of COGES have submitted school action plans. Taking the present situation into account, the Project Purpose of 'nationwide establishment' and 'functionalization' of COGES is likely to be achieved to a certain extent by the end of the Project.

**Indicators of the Project Purpose**

- Since there is no concrete target figure for the indicators of the Project Purpose in the PDM, it is difficult to evaluate the level of achievement.
- Data collection and analysis for the second indicator 'percentage of the plans that were implemented' seems to cause difficulty because of the huge number of target group. Availability of the data should be taken into consideration and if necessary, an alternative indicator should be set.

**Cause and Effect Relations**

- Capacity development of actors related to COGES (Output1), especially COGES supervisors and COGES officers, enabled them to plan and conduct necessary training to support the establishment and functionalization of COGES.
- Establishment of COGES monitoring system (Output 2) by FCC and COGES officers have contributed to the strengthening of the functionality of COGES in Tahoua and Zinder.
- Establishment of education improvement activity models (Output 3) such as community pre-school, forum approach and inspectors' meeting have contributed to strengthen the functionality and the supporting system of COGES.

**Hindering Factor in Effectiveness**

- Some local education administrators of where the school grant pilot project was conducted pointed out the possibility of grants to cause negative impact on the functionality of COGES unless they have sufficient capacity and transparency to make effective use of the grants.

**Efficiency: Medium****Activities and Inputs to produce the Outputs**

- Activities have generally been implemented based on the plan and inputs to the Project are well utilized to produce the expected Outputs. However, delays in the disbursement of the Counterpart Funds and the supply of motorbikes for COGES officers have caused serious damage to the establishment of the COGES monitoring system.

**Contribution Factors in Efficiency**

- Financial assistance of the World Bank under the framework of PADEB enabled the implementation of training necessary for the establishment of COGES nationwide.
- The collaboration with UNICEF based on the agreement on community pre-school worked effectively as UNICEF supporting the pedagogical aspects including supply of educational materials while the Project providing technical support for the establishment and management of pre-school, which enabled the rapid expansion of the pre-schools in Tahoua and Zinder.
- Support from communes enabled FCC to effectively carry out their action plans. The ministerial ordinance regarding FCC published in October 2008 promoted the cooperation between FCC and

communes.

**Impact: High**

**Prospect of Achieving the Overall Goal**

- Since the Phase I of the Project started in 2004, indexes of primary education in Niger such as enrolment ratio, registration ratio of new entrants, completion ratio and gender disparity have shown improvement considerably. Campaigns based on the forum approach have directly made remarkable impact on the registration ratio of girls and passing rate in Tahoua and Zinder.

**Extended Effects**

- Some COGES have addressed community issues such as establishment and management of community pre-schools, boardinghouses for secondary school students and health posts. These cases show the potential of COGES to contribute to the improvement of the community environment beyond the scope of primary education.
- As the effectiveness of the Inspectors' meeting which the Project introduced to Zinder and Tahoua had been demonstrated, MEN institutionalized the meeting nationwide in January 2009.
- The Project has supported the promotion of community-based school management in Senegal, Mali and Burkina Faso through hosting experience sharing seminars and sending project staff to the respective country to provide technical assistance.

**Sustainability: Medium**

**Political and Institutional Aspect (National Level)**

- Enhancement of community-based school management as a part of decentralization in education is stipulated in PDDE.
- The functional COGES model and the FCC model have both been adopted as official models in the national workshop and related ministerial ordinance have been published.
- MEN has hosted experience sharing seminars biannually for the purpose of enhancing the implementation of COGES strategy.

**Institutional, Organizational and Financial Aspects**

Level	Description
Region (DREN)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● COGES supervisor has been posted to each Regional Office of National Education (DREN). The main role of COGES supervisor is to supervise COGES officers on the monitoring on COGES.</li> <li>● Monthly meeting of COGES officers has been held regularly in Tahoua and Zinder. Other regions have also started to hold the monthly meeting.</li> <li>● Monthly meeting of inspectors has been held regularly in Tahoua and Zinder. As the meeting had been institutionalized by MEN, other regions have also started to hold the meeting.</li> <li>● Most of the DREN understands the importance of COGES in education development and strongly support the implementation of the policy at the regional level.</li> </ul>
Department (Inspector's office)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● COGES officer has been posted to each inspector's office. The main role of COGES officer is to monitor and supervise FCC and COGES.</li> <li>● Although the role of COGES officer is monitoring which is similar to pedagogical advisor, there is no official qualification for them.</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Most of the COGES officers don't have official means of transportation. Some borrow the inspector's motorbike while others use their private ones for monitoring activities.</li> <li>• Since MEN depends on the Counterpart Funds for the cost of fuel for COGES officers, the monitoring activities were interrupted during the delay of disbursement of the Funds.</li> <li>• For pre-primary education, the numbers of inspectors and pedagogical advisors are not enough to carry out effective monitoring and supervision on the management and pedagogic aspects of pre-schools.</li> </ul>
Commune (FCC)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• FCC have been established at the communal level based on the ministerial ordinance. The main function of FCC is the monitoring of COGES. Secretariat members of FCC are elected democratically.</li> <li>• In Tahoua and Zinder, FCC has been established in all communes during the Phase I of the Project. In other regions (except Agadez), the process of establishing FCC has just begun.</li> <li>• A functional FCC is expected to be a self-sufficient body capable of mobilizing financial resources by their own to carry out their activities. The main financial source is the contribution from COGES. FCC in Tahoua and Zinder mobilized 334,375 Fcfa on average in 2007-08.</li> <li>• As the ministerial ordinance regarding FCC encourages the cooperation between commune and FCC, some communes are supporting FCC financially. In the interview with Mayors, it was mentioned that securing annual budget for FCC is possible by integrating the FCC action plan into the Communal Development Plan.</li> </ul>
School / Community (COGES)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• COGES have been established at the community level based on the ministerial ordinance. Secretariat members of COGES from Parents' Association are elected democratically.</li> <li>• A functional COGES is expected to be a self-sufficient body capable of mobilizing financial resources by their own to carry out their activities. The main financial source is the contribution from community residents. Although the present condition of mobilization is not certain in general, the result of an interview survey with a small number of COGES in Dosso shows that the mobilized amount was 60,881 Fcfa on average for 2007-08. This indicates room for improvement compared to the mobilized amount of 208,586 Fcfa of Tahoua in 2005-06 at the end of the Phase I of the Project.</li> </ul>

#### Technical Aspect

Level	Description
Region (DREN)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• COGES supervisors understand the COGES strategy well and are well trained. They have successfully carried out training related to the establishment of COGES and FCC nationwide. Some already have enough capacity while others are on their way to developing their capacity to supervise COGES officers and report the circumstances to their supervisors.</li> </ul>
Department (Inspector's office)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Most of the COGES Officers understand the COGES strategy well and are well motivated. They have successfully carried out training related to the establishment of COGES and FCC nationwide. Some already have enough</li> </ul>

	<p>capacity while others are on their way to developing their capacity to monitor FCC and COGES and report the circumstances to their supervisors.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• In Tahoua and Zinder, monthly meetings of COGES officers and inspectors have been held regularly which has contributed to the capacity development of COGES officers and inspectors.</li> <li>• In other regions, monthly meetings of COGES officers and inspectors have just started. These meetings are expected to contribute to the capacity development of COGES officers and inspectors nationwide.</li> </ul>
Commune (FCC)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• In Tahoua and Zinder, most of the FCC members are well trained and motivated. However, as a result of the interruption of monitoring by COGES officers in 2008, decline in performance had been observed. This fact suggests that monitoring and supervision by COGES officers is essential at this point for the functionalization of FCC.</li> <li>• Some FCC required for training on financial management, advocacy and proposal development as they plan to request the commune for financial support.</li> </ul>
School / Community (COGES)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Most of the COGES members are well trained and motivated.</li> <li>• In Tahoua and Zinder, the school action plan submission rate is 89.5% which suggest a certain level of functionality.</li> <li>• In other regions, the school action plan submission rate is 55.2% which shows room for improvement.</li> </ul>

#### Social Aspect

- It was observed that bad harvest can seriously affect the amount of contribution to COGES from the community residents.
- It was observed that there is an urban-rural gap in the amount of financial support from the commune to FCC based on the revenue of the respective commune.

### 2-3. Conclusion

The Government of Niger has been making efforts to improve the access and quality of education under the framework of PDDE 2003-2012. PDDE aims for the enhancement of community-based school management as a part of decentralization in education. Thus, the Project purpose of establishing and functionalizing COGES nationwide is highly relevant to the policy priority of the Government of Niger as well as the needs of children and community for better school management based on the local demand.

The activities of the Project have been implemented mostly successfully producing expected outputs, which has led to the establishment of COGES nationwide. Some good models of improving education have been developed and expanded through the project activities such as community preschool, forum approach and inspector's meeting. Devoted efforts made by COGES supervisors and COGES officers as well as the support and understanding of DREN and inspectors have contributed to this achievement. Now the Project is making effort to strengthen the functionality of COGES through establishing an effective monitoring system.

Although the generally successful implementation, some hindering factors have been observed. Delays in the disbursement of the Counterpart Funds and the supply of motorbikes to COGES officers have slowed down the activities related to the establishment of COGES monitoring system. Commitment and efforts of MEN are required to solve these problems for further success of the Project.

It has become clear that the monitoring by COGES officers is effective in functionalizing FCC and COGES. Thus, further capacity development of COGES officers should be prioritized for the achievement of the Project Purpose.

As the Project has a remaining implementation period of one and a half year, it is expected to make further achievements which will contribute to the improvement in education in Niger.





### 3. RECOMMENDATIONS

The Team has made the following recommendations for further improvement of the Project

(1) Further capacity development of COGES (Recommendation to MEN and the Project)

Although COGES have been established nationwide, there is still room for improvement in terms of the functionality of COGES. In order to strengthen the functionality of COGES, monitoring and supervision by FCC, COGES officers and COGES supervisors are essential. The role of COGES officer is particularly important as the administrator who is in the position to provide technical support directly to FCC and COGES members. Thus, the capacity building of COGES officers should be prioritized. Since the monthly meeting of COGES officers provides a good opportunity for their capacity development, the Team recommends MEN to make the budget available to ensure monthly meetings of COGES officers to be held on a regular basis nationwide. The Team recommends the Project to provide MEN with technical support for holding regular meetings.

(2) Profile and proper qualification criteria of COGES officers (Recommendation to MEN)

COGES officers play a very important role in monitoring COGES through/and FCC. Thus, the capacity and personality of COGES officers are crucial factors in the COGES strategy. For that reason, proper selection of capable COGES officers is significant. The Team therefore recommends that MEN define et introduce nomination criteria. This may contribute to enhanced quality and motivation of COGES officers.

(3) Facilitation of the process to equip COGES officers with motorbikes (Recommendation to MEN)

Monitoring by COGES officers has contributed to the capacity development of COGES and FCC. However, most of the COGES officers have difficulties in monitoring the activities of COGES and FCC because of the lack of means of transportation. A high priority should be given to supply motorbikes to COGES Officers in order to ensure capacity development of COGES and FCC through appropriate monitoring. Thus, the mission recommends MEN to make a greater effort to equip them with motorbikes.

(4) Regular disbursement of the Counterpart Funds (Recommendation to MEN)

The delay in the disbursement process of the Counterpart Funds has affected the implementation of the Project according to the plan of operation. Regular disbursement is highly recommended for smooth implementation of the Project especially for the establishment of the monitoring system. It is also recommended to develop a disbursement schedule and make it approved by the Ministry of Economy and Finance in order to ensure regular disbursements.

(5) Establishment of the model of community pre-school monitoring (Recommendation to MEN and the Project)

Community pre-schools managed by functional COGES have demonstrated their effectiveness in improving the access to pre-primary education especially in rural areas. Despite the rapidly growing number of community pre-schools, the number of pre-school inspectors and pedagogical advisors is not

enough to enable effective monitoring and supervision of these pre-schools in both management and pedagogical aspects.

Thus, the Team recommends MEN to increase the number of pre-primary pedagogical advisors to ensure the quality and sustainability of community pre-schools.

The mission recommends the Project to provide MEN with technical support in initiating a pilot activity establishing an effective model in Illela Department, which already has 23 functional community pre-schools.

(6) Expansion of the forum approach to other regions (Recommendation to MEN and the Project)

Campaigns based on the forum approach pursued in Zinder and Tahoua produced remarkable outcomes in improving the access and quality of education. Thus, this approach should be applied to other regions in order to facilitate the implementation process of PDDE nationwide. The mission recommends the Project to provide technical support for MEN to hold regional forums as well as to plan and implement campaigns.

(7) Further involvement of inspectors (Recommendation to MEN and the Project)

The role of inspectors is also important in the COGES strategy as they are responsible for all educational matters at the department level including the supervision of COGES officers. The Inspectors in Tahoua and Zinder regions have made considerable contributions to produce remarkable achievements through their regional campaigns. Thus, the capacity development of inspectors has a great potential to contribute to the promotion of project activities. The mission recommends MEN and the Project to promote experience exchange among inspectors from different regions regarding the implementation of the COGES policy.

(8) Efficient management of the Project (Recommendation to the Project)

Since the Project has been expanded nationwide from the Phase II, the load of coordination, implementation, and management of activities has been considerably increasing.

Considering the limited resources, continuous efforts toward effective management are essential for the success of the Project. The mission recommends that the Project ensure adequate information sharing, proper task assignments and appropriate activity prioritization among the responsible Project team staff.

(9) Capacity building of COGES before gradual introduction of school grants (Recommendation to MEN)

Some development partners suggest the expansion of the school grant system to COGES. If the COGES do not have enough capacity to make effective use of grants, it may cause negative impact on the functionality of COGES. The mission recommends MEN to proceed gradually by developing the capacity of COGES before supplying grants so as to contribute to the improvement of education.

(10) Revision of PDM (Recommendation to MEN and the Project)

Some parts of the PDM do not correspond to the priority of the project activities at present. In addition, there are some indicators without concrete targets including the “Objectively Verifiable Indicators” for the

Project Purpose. It is recommended to revise the PDM so as to properly evaluate the progress and achievement of the Project.

ll

pc

## ANNEXES

### ANNEX 1. Inputs to the Project

- 1-1. List of Japanese Experts
- 1-2. List of Main Machinery and Equipment Provided by JICA
- 1-3. List of Participants in Training in Japan
- 1-4. List of Nigerien Counterparts
- 1-5. List of Land, Buildings and Facilities

### ANNEX 2. Project Design Matrix

### ANNEX 3. Evaluation on Community pre-school by the Five Criteria

### ANNEX 4. Plan of Operation and the Progress of Activities

### ANNEX 5. Evaluation Grid

- 5-1. Achievement of the Project
- 5-2. Process of the Project Implementation
- 5-3. Evaluation by the Five Criteria



## ANNEX 1 Inputs to the Project

### 1-1. List of Japanese Experts

#### (1) List of Long-term Expert

No.	Name	Field	From	To
1	Mr. Masahiro Hara	Chief Advisor / Education Advisor	1 Aug 2007	1 Aug 2008
2	Ms. Hiroko Miura	Chief Advisor / Education Advisor	25 Jun 2008	present
3	Mr. Kimikazu Onoue	COGES Monitoring	1 Aug 2007	29 Mar 2008
4	Ms. Akiko Kageyama	Development of COGES Initiatives (School Action Plans)	27 Sep 2007	present
5	Ms. Junko Nakazawa	Capacity Development / Coordinator	1 Aug 2007	present
6	Mr. Nobuhiro Kunieda	COGES Monitoring	10 Mar 2008	present

#### (2) List of Short-term Expert

No	Name	Field	From	To
1	Ms. Minako Morimoto	Local Education Administration	2 Jan 2008	26 Feb 2008

**ANNEX 1-2. List of Main Machinery and Equipment Provided by JICA**

Item	Specification (Model Name/No, Manufacturer )	Quantity	Unit Price (NGN)	Sub Total	Delivery Date	Beneficiaries	Condition
Air conditioner	SHARP 2HP	2	435,000	870,000	Nov. 13 2007	Niamey, Konni	Good
Printer	HP F 2180 Color	3	127,500	382,500	Nov. 13 2007	Niamey, Konni	Repair is needed
Laser Printer	HP 5550 DN Color	1	2,995,000	2,995,000	Jan. 18 2008	Niamey	Good
Safety Box	100kg	1	350,000	350,000	Nov. 14 2007	Konni	Good
Fax machine	Panasonic KX-FP series	1	230,000	230,000	Nov. 28 2007	Konni	Good
Photocopier	TOSHIBA e-studio165	1	1,883,193	1,883,193	Nov. 19 2007	Niamey	Good
Notebook PC	Potable HP processor Intel Celeron M	1	650,000	650,000	Dec. 4 2007	Niamey	Good
Desktop PC	HP Compaq	1	820,000	820,000	Dec. 4 2007	Niamey	Good
UPS	UPS800VA	1	120,000	120,000	Dec. 4 2007	Niamey	Good
Motorcycle	SUZUKI TF125	9	1,700,000	15,300,000	Dec. 13 2008	Tahoua	Good
Notebook PC	HP 530	2	680,000	1,360,000	Mar. 3 2008	Niamey	Good

**ANNEX 1-3. List of Participants in Counterpart Training in Japan**

No	Name	Position or Profession	Course Title	Venue	From	To
1	Marou Amadou	Director-General of Basic Education of MNE	Study on Education Improvement of Teacher Training Courses for French Speaking African Countries	Osaka	Nov 2008	Dec 2008
2	Ali N'Diaye Ibrahim	Director of Regional Office of National Education/Zinder	Study on Education Improvement of Teacher Training Courses for French Speaking African Countries	Osaka	Nov 2008	Dec 2008

**ANNEX 1-4. List of Nigerien Counterparts**

No.	Name	Position
1	Maiguizo Rakiatou Zada	Secretary-General, Ministry of National Education (MEN) National Coordinator of the Project
2	Marou Amadou	Director-General of Basic Education, MEN
3	Abdoulaye Souley	Chief, Division of Cooperation and Project, MEN
4	Damana Isaka	National Coordinator of CP/COGES, MEN
5	Abdou Aman	Director, Regional Office of National Education/Agadez
6	Abba Baitou	Director, Regional Office of National Education/Diffa
7	Asmane Guizo	Director, Regional Office of National Education/Dosso
8	Erambel Iba Abdoulaye	Director, Regional Office of National Education/Niamey
9	Baudin Joseph	Director, Regional Office of National Education/Maradi
10	Rissa Seidi	Director, Regional Office of National Education/Tahoua
11	Ali Issa Waly	Director, Regional Office of National Education/Tillabéri
12	Ali N'Diaye Ibrahim	Director, Regional Office of National Education/Zinder



**ANNEX 1-5. List of Land, Buildings and Facilities**

No.	Building/Facilities
1	Project Office (Niamey)
2	Project Office (Konni)